クボタ電動カート ラクーター

取扱説明書

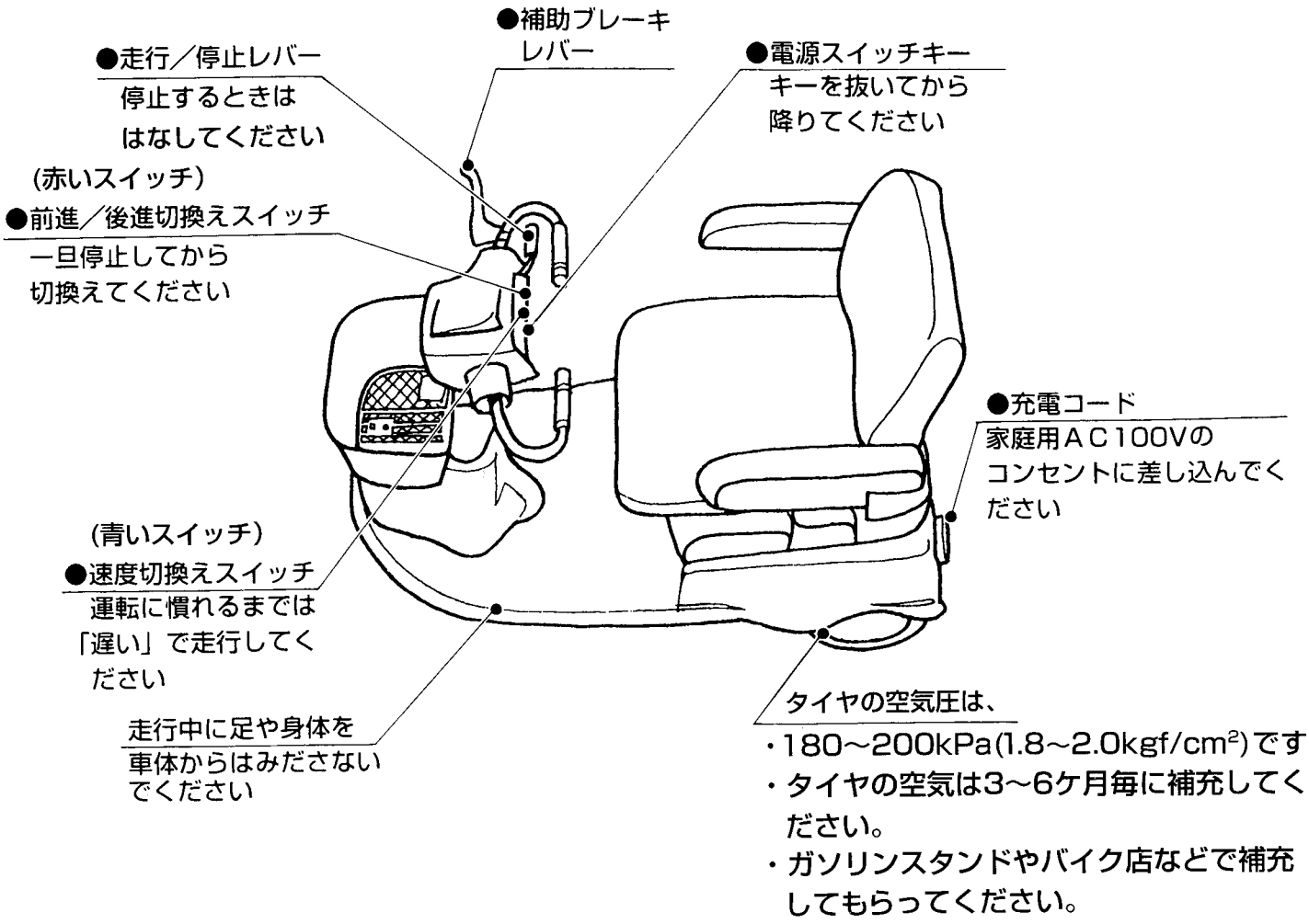
ED-37シリーズ

ED-37
ED-37P(分割式)
ED-37L(大型バッテリ式)

街の中へ・光の中へ
カートのある
快適な暮らし

安全宣言
安全はクボタの願い

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください



■ラクーターは国家公安委員会のTSマークの認定を受けています。
形式認定番号　交K93-6，交K93-7

■ラクーターはJIS T9203-1987「電動車いす」に適合しています。

■本書はED-37を基本に編集しております。ED-37と取扱いが異なる場合は，そのつど，追加説明をいたしております。お手元の製品をお確かめの上，お間違いのないようご活用ください。

■各形式の相違点

	分割式	大型バッテリ	スイッチ緊急ブレーキ	アームレスト	シート上下	シート回転	ヒモ（クラッチレバー）	バスケットフロント	ホイールキャップ	トッテ
ED-37			○	○	○	○	○	○	○	
※1 ED-37P	○		○	○	○	○	○	○	○	○
ED-37L		○	○	○			○	○	○	

※1　ED-37P（分割式）は，本体が2分割などで，5つのユニットになります。

はじめに

必ず読んでください。

このたびはクボタ製品をお買上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い・操作方法，簡単な点検およびお手入れについて説明しています。**ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が優れた性能を発揮し，かつ安全で快適な運転をするためこの冊子をご活用ください。**また，お読みになった後，必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。
なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安 全 第 一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，ラクーターに貼られた⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い・操作上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ **危 険** ：その指示に従わなかった場合，死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ **警 告** ：その指示に従わなかった場合，死亡または重傷を負う恐れのあるものを示します。

⚠ **注 意** ：その指示に従わなかった場合，軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する恐れのあるものを示します。

重 要 ：注意事項を守らないと，機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。

補 足 ：その他，使用上役立つ補足説明を示します。

上記で⚠注意とした内容でも，状況によっては重大な結果につながる場合がありますので，その指示に従ってください。
なお，バッテリカバーを外してバッテリに直接触れる作業を行なう場合は，バッテリに貼付してあるラベルの注意事項に従ってください。

ラクーターご使用のお客様または持ち主の方へ

ラクーターを他人に貸す場合は取扱い方法を必ず説明し，「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。
また，ラクーターを譲渡するときは，この「取扱説明書」を一緒に引き渡してください。

目　次

必ず読んでください。

⚠注意 安全運転のために……1
1.運転の練習……3
2.交通ルール……5
3.禁止事項……6
4.走行上の注意……7
5.斜面走行上の注意……10
6.⚠表示ラベルと貼付け位置……12
運転装置・各部の名称と取扱い……13
補助運転装置の働き……19
警告機能……20
走行前の点検……22
運転のしかた……23
運転のまえに……23
発進するとき……24
走行するとき……26
停止するとき……27
降りるとき……27
充電のしかた……28
充電の必要なとき……28
バッテリの取扱い……31
バッテリメータの表示と連続走行時間の目安……31
バッテリの取扱いのしかたと注意……32
バッテリの取外し方……35
バッテリの取付け方……37
保守のしかた……38
手入れと保管……39
1.掃除のしかた……39
2.タイヤの点検……39
3.タイヤの摩耗限度……40
4.保　管……40
分解・組立てのしかた【ED-37P】……41
組立てのしかたと安全チェック……43
分解のしかた……45
車での輸送準備手順……47
定期点検……48
定期点検記録簿……49
故障のときの処置……50
電気配線図……52
主要諸元／寸法図……53
アフターサービスについて……54

注 意 安全運転のために 必ず読んでください。

注 意

＊ご使用前に次の注意事項をよく読んで，必ずお守りください。これらの事項に従わなかった場合，人身事故及び機械の損傷につながる恐れがあります。

警 告（クラッチレバーの操作上の注意）

X-0350

衝突・転倒の恐れがあります。
クラッチレバーを「手押し」の位置で乗車走行しないでください。

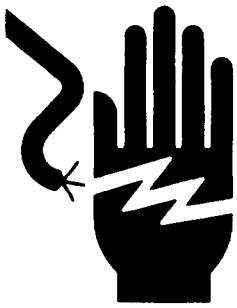
・クラッチレバーが「手押し」の位置ではブレーキがきかず停止することができなくなり，事故につながります。
・特に，下り坂では絶対にクラッチレバーを「手押し」の位置で乗車走行しないでください。

警 告（充電時の注意）

X-0351

引火爆発の恐れがあります。
充電中にバッテリに火気を近づけないでください。

・バッテリは充電中に可燃性のガスを発生することがありますので，バッテリに火気を近づけたり，バッテリの近くで喫煙しないでください。
・他の充電器で行う急速充電は絶対しないでください。
・充電は直射日光を受けない，風通しのよい所で行なってください。



X-0352

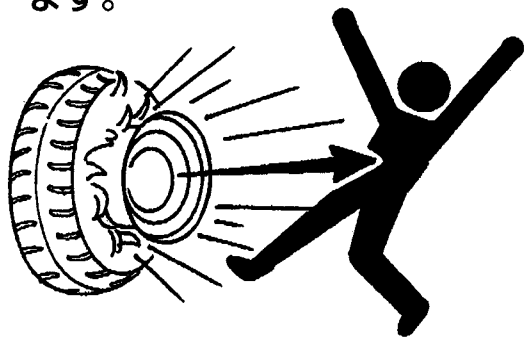
感電の恐れがあります。
濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。

次のような場合は感電する恐れがありますので，注意してください。
・雨・露を受けない所，湿気の少ない所で充電してください。
・雨・露などで車体や充電コード・プラグが濡れているときは，乾くまで待って充電してください。
・濡れた手は，よくふき取ってから充電してください。

注 意 安全運転のために

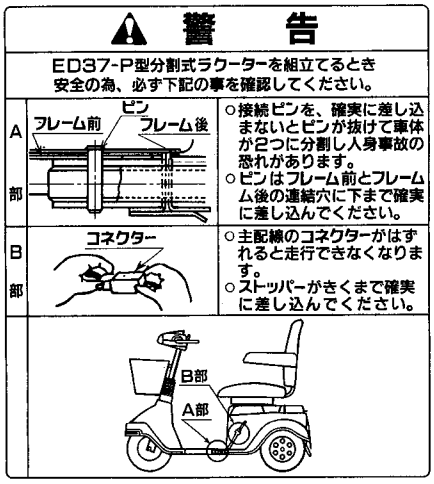
警 告（タイヤ破裂の注意）

・タイヤの空気圧は、取扱説明書（➡P.40）に記載している適正空気圧を必ず守ってください。
・空気の入れ過ぎは、タイヤ破裂の恐れがあり死傷事故を引き起こす原因になります。



・タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないで下さい。タイヤ破裂の恐れがあります。
・タイヤ、チューブ、リムなどの交換、修理は、必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行うように、法で決められています。）

警 告（分割型ラクーターの注意）



・接続ピンを確実に押し込まないと，ピンが抜けて車体が２つに分割し，人身事故の恐れがあります。
・ピンはフレーム前とフレーム後の連結穴に下まで確実に差し込んでください。
接続ピンを紛失した場合でも，正規でないピン・鉄釘などは使わないでください。
・主配線のコネクタが外れると走行できなくなります。
・ストッパがきくまで確実に差し込んでください。

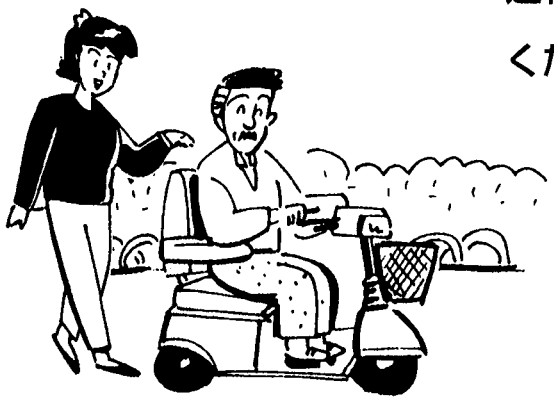
【ED-37Pのみ】

注　意

＊ご使用前に次の注意事項をよく読んで，必ずお守りください。これらの事項に従わなかった場合，人身事故及び機械の損傷につながる恐れがあります。

1.運転の練習

公園・広場などの安全な広い場所で，介助者と共に自信がつくまで，十分練習してください。



X-0355

・運転に慣れるまでは絶対に一人で運転しないでください。

介助者の方へ

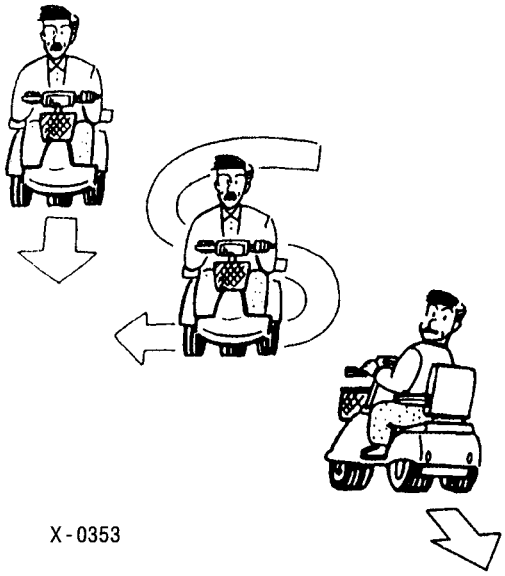
赤いスイッチ（前進／後進切換えスイッチ）を切換えるとすぐ停止します。赤いスイッチに手の届く位置にいて指導してください。

停止するときは，走行／停止レバーを“はなす”ということを体で覚えてください。

X-0356

注 意 安全運転のために

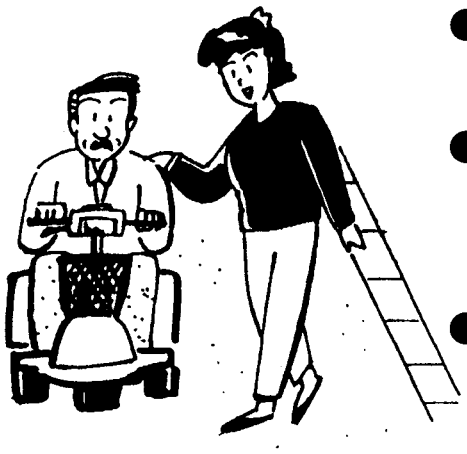
次の手順通り十分練習してください。



X-0353

- 最初は「遅い」にして前進の練習をしてください。
- 真っ直ぐに走ることができたら，大きく蛇行したり旋回して練習してください。
- 次に後進の練習をしてください。
  - ・なれてきたら「普通」「速い」へと順次切り替えて練習してください。
  - ・次に前進と後進を使っての切り返しをして，目的地点で止まる練習と方向転換の練習をしてください。

初めて道路に出るときは・・・・・・



X-0354

- ●初めて道路に出るときは，通常通る道順に沿って、介助者と共に安全を確かめて走行してください。
- ●特に、踏切は大変危険ですので避けてください。どうしても通るときには、介助者と一緒に渡ってください。
- ●事前に不測の事態を考え、介助者と共に安全な走行のしかたを確認しておいてください。

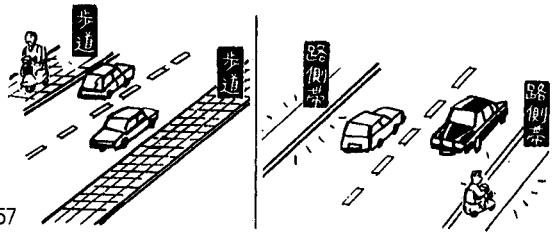
(➡ P.8)

2.交通ルール

ラクーターは，道路交通法上，身体障害者用車椅子になり，歩行者として取扱われます。従って，運転免許証は不要ですが，歩行者としての注意義務やマナーを必ず守って，安全運転を心掛けてください。

常に歩行者用道路を走行してください。

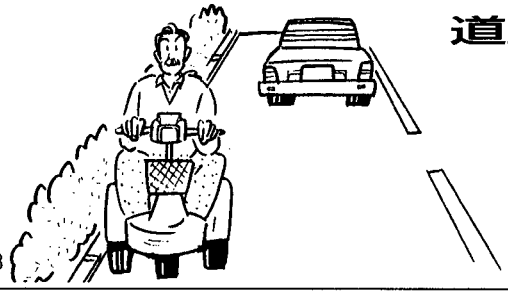
歩道　　路側帯



X-0357

・歩道や十分な幅のある路側帯（白線の外側）を走行してください。車道を通ってはいけません。

歩道も路側帯もない道路では，道路の右側を走行してください。



X-0358

・対向する自動車などがある場合は，右端の安全な場所で一旦停止し，通過するのを待ってください。

道路の横断のしかた

横断歩道の標識

X-0359

(赤)

(青)

横断

・横断歩道や信号機のある所を横断してください。
・横断歩道は信号が「青」になった直後に，左右をよく見て安全を確認してから横断してください。

横断が禁止されている所は横断しないでください。

横断禁止の標識

X-0360

(赤)

(青)

横断禁止

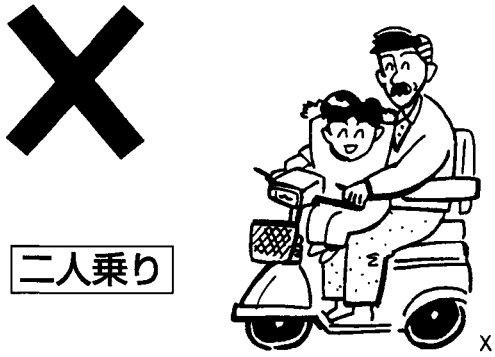
・横断禁止の標識のある所は，横断してはいけません。
・横断歩道は信号が「赤」のときは，横断してはいけません。

注　意 安全運転のために

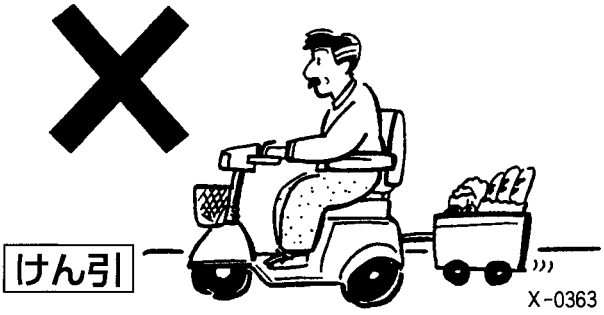
3 .禁止事項

次のことは避けてください。

二人乗り

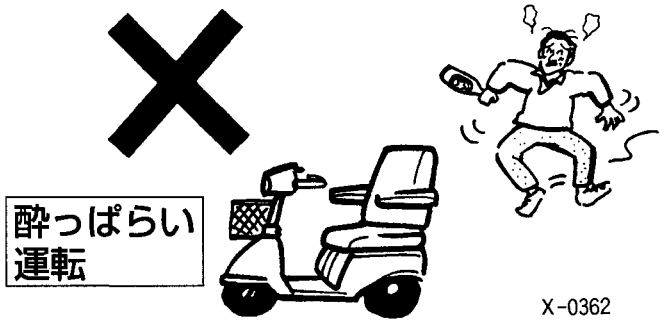


車両や荷物を引張っての走行

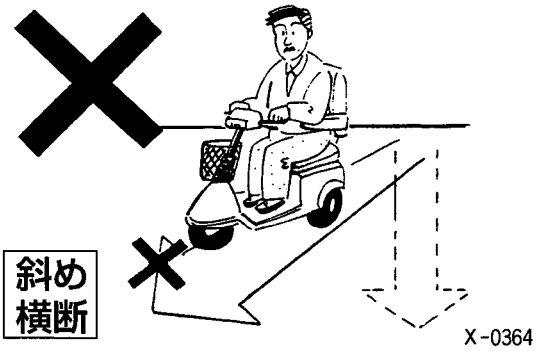


他の用途には使用しないでください。

気分のすぐれないときや，飲酒をしたとき



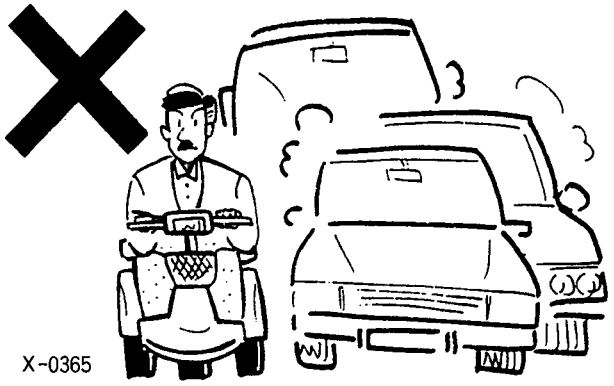
道路の斜め横断



4 .走行上の注意

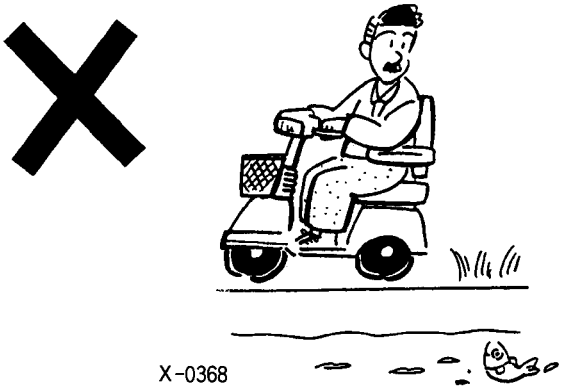
次のような場所や路面状態では危険が伴いますので，走行を避けるか，介助者の方を必ず同行してください。

交通量の多い道路及び雑踏の中



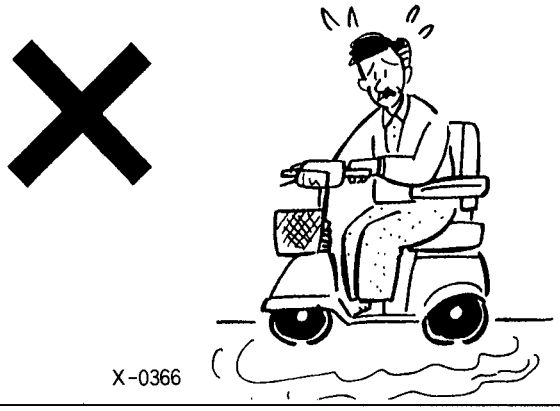
X-0365

防止柵のない側溝及び池などの路肩



X-0368

雨の日やぬかるみ

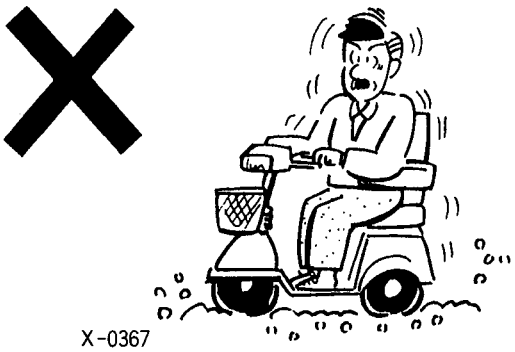


X-0366

降雪・凍結時

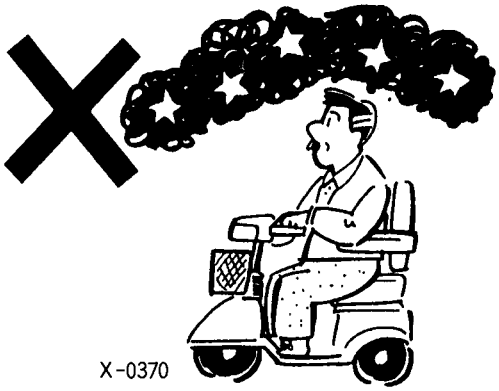
X-0369

凹凸の多い道，砂利道



X-0367

夜間

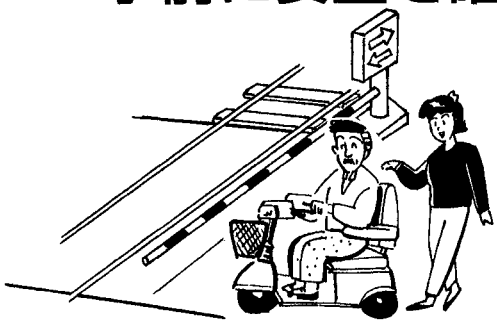


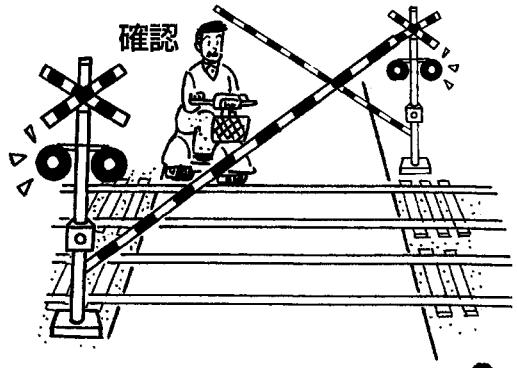
X-0370

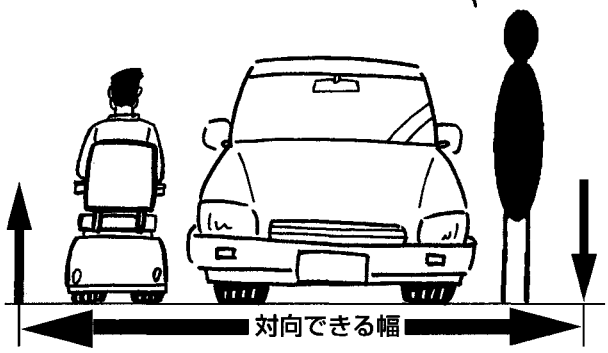
注 意 安全運転のために

踏切の渡り方

事前に安全を確かめた踏切を渡りましょう。







●踏切の手前で一旦停止し，左右と前方の安全を確かめてから十分な余裕をもって渡ってください。

●また，踏切を渡る際，溝・線路に車輪をとられないよう注意して渡ってください。

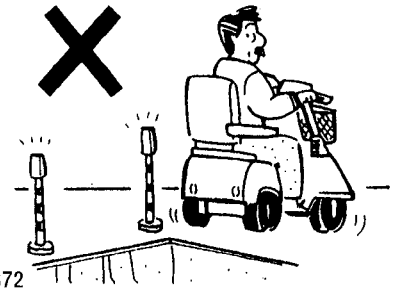
●踏切を渡る事は状況により大変危険を伴います。できるだけ介助者と一緒に渡るか、事前に介助者と共に次のことを確かめておいてください。

・警報が鳴り始めてからしゃ断かんが降りるまでの時間に、余裕を持ってその踏切を渡り切れること。

・踏切内で対向する車や人があっても、停止することなく容易に対向できる十分な幅があること。

次のような場所や走行状態では危険が伴いますので，細心の注意を払って走行してください。

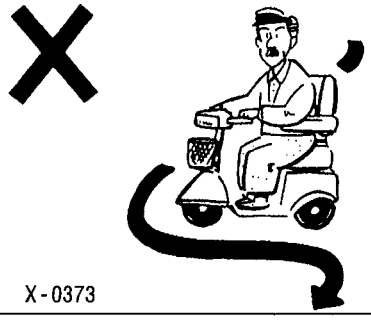
後進するときは，後方の安全を十分に確認してください。



・特に人・障害物・穴などがないことを確認してください。

・「速い」後進は危険ですので避けてください。

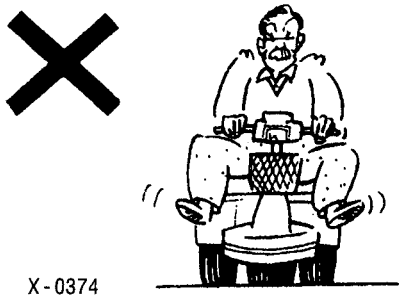
蛇行運転，急停止，急旋回は避けてください。



X-0373

・乱暴な運転は転倒や事故につながる恐れがあります。
なめらかな運転をしてください。

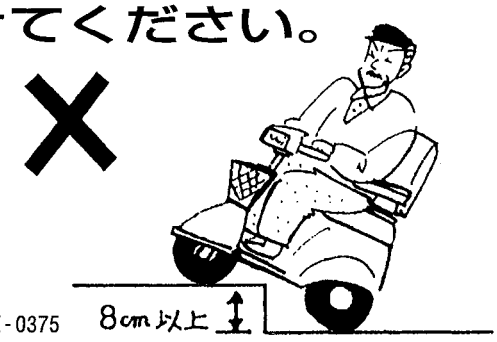
走行中に足や体を車体からはみ出さないでください。



X-0374

・車体と障害物の間に足や体をはさむと事故につながる恐れがあります。
・デッキに荷物を乗せての走行は危険です。

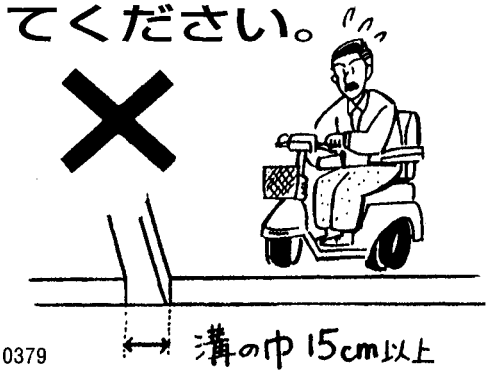
8cm以上の段差は乗り越えできませんので，避けてください。



X-0375

・段差を乗越えたり，降りたりするときは，速度を落としてゆっくりと行ってください。
・また，段差に直角方向に行って，左右の後輪が同時にかかるようにしてください。

15cm以上の溝越えはできませんので，避けてください。



X-0379

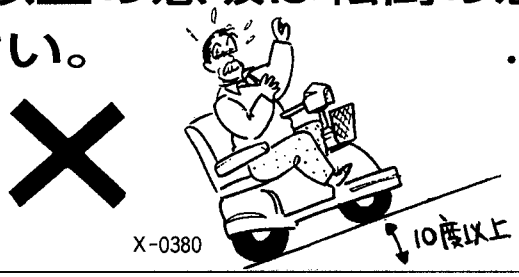
・溝越えをするときは速度を落としてゆっくりと渡ってください。
・また，溝に直角方向に行って，左右の後輪が，同時に越えるように渡ってください。

注 意 安全運転のために

5 .斜面走行上の注意

全ての斜面走行は平坦な所よりはるかに危険です。
次のような場所や路面状態では転倒する恐れがありますので走行を避けてください。

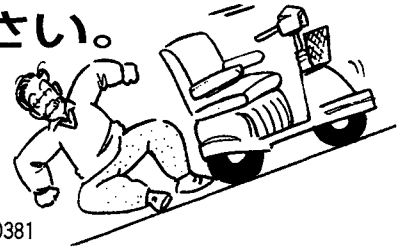
10度以上の急坂は転倒の恐れがありますので避けてください。



X-0380

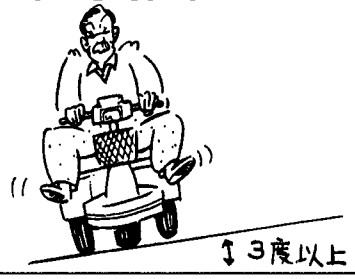
・10度以上の坂道を登ったときは，断続のブザーが「ブー，ブー，ブー」と鳴って危険を知らせます。

下り坂での後進は転倒する恐れがありますので，避けてください。


X-0381

・前進で下りてください。

3 度以上の傾斜面は避けてください。



X-0382

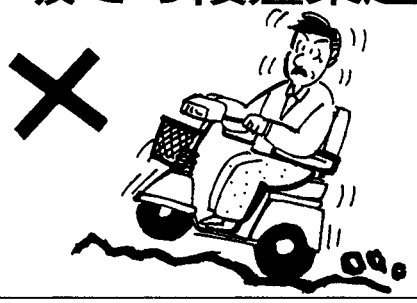
・坂下側にハンドルが取られやすく，転倒する恐れがあります。

リヤーバスケットには10kg以上の荷物を載せないでください。

X-0383

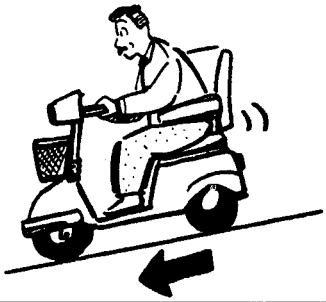
・リヤーバスケットの荷が重すぎると，坂道での上りは転倒する恐れがあります。
・バスケットの前後に荷物をバランスよく載せて，ゆっくりと走行してください。

上り坂での段差乗越え、溝越えは避けてください。



・前輪が浮いて，転倒する恐れがあります。
・凹凸のある道は，車輪が穴にはまり，より急な斜面となり転倒する恐れがあります。

下り坂は「遅い」でゆっくり走行してください。

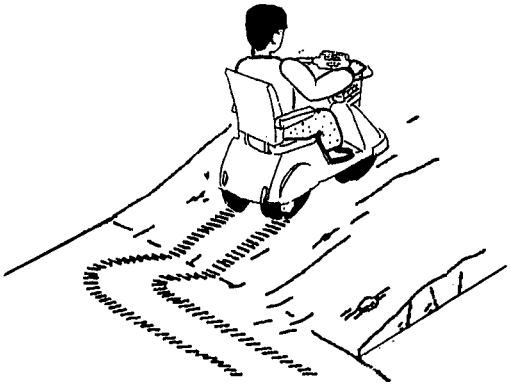


・坂下側にハンドルが取られ易く，転倒の恐れがあります。
・制動距離は条件によって変わるので，停止操作は余裕をもって行なってください。

坂道での駐停車は避けてください。

・駐停車するときは，坂道を避けて必ず平坦な所で行ない，キーを抜いてください。坂の途中，車道に近い歩道など危険な場所に放置しないでください。
・坂道での乗り降りは避けてください。必ず平坦な所で乗降してください。

坂道は必ず直進で走行してください。

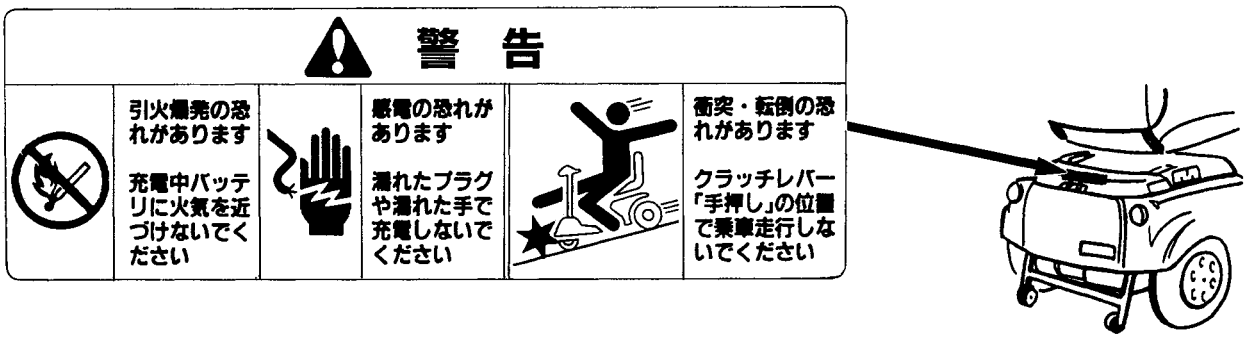


・急ハンドルを切ると転倒の恐れがありますので避けてください。

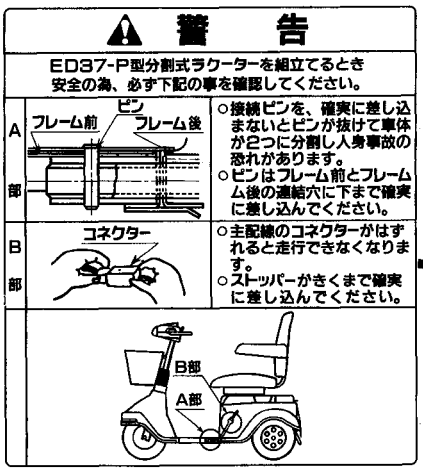
6.⚠表示ラベルと貼付け位置

ラクーターには，次の⚠表示ラベルが貼ってあります。
よくお読みになって安全に走行してください。

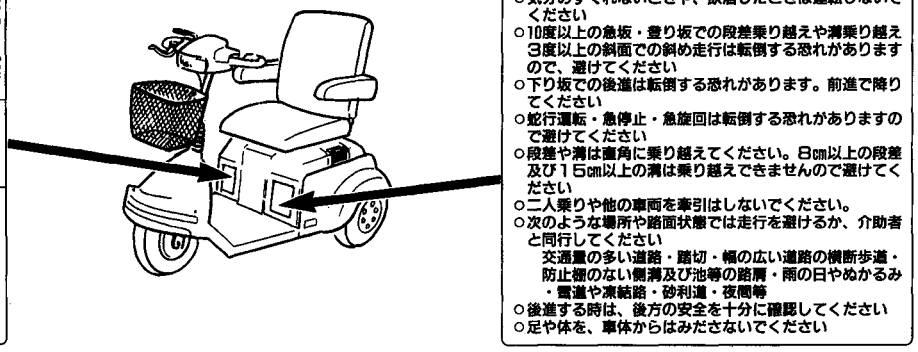
①品番：Y0001-4721-1



②品番：87225-4724-4
[ED-37Pのみ]



③品番：87225-4723-2

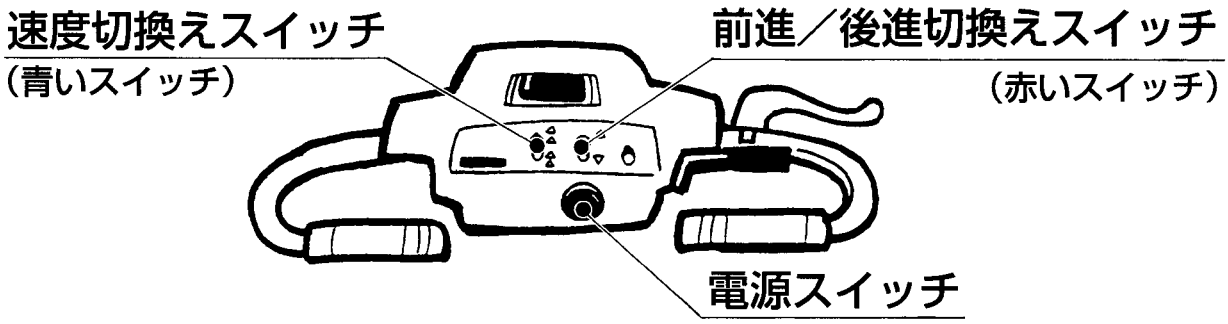


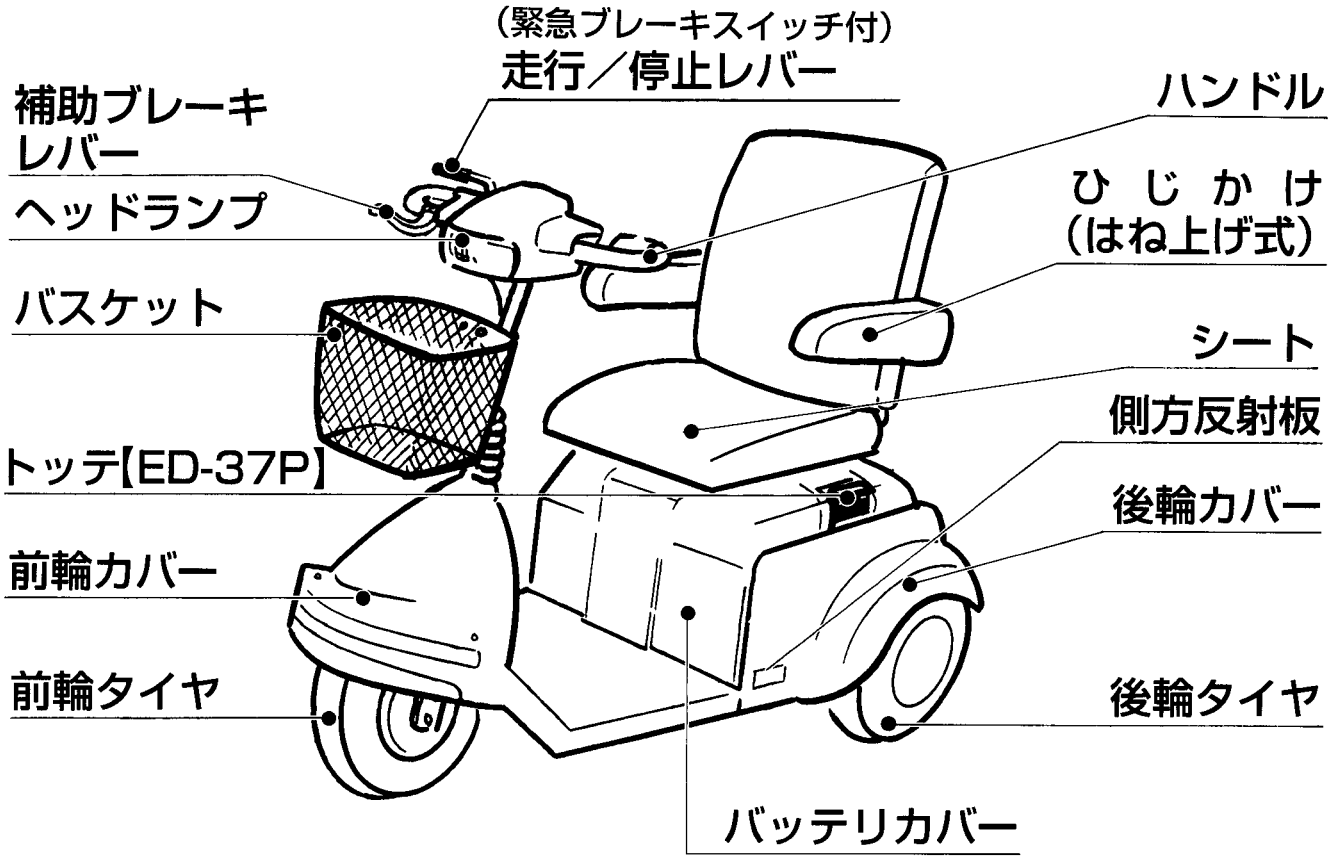
⚠表示ラベルの手入れ

(1)ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
　もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
(2)破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼換えてください。
(3)新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
(4)ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

運転装置・各部の名称と取扱い

運転装置・各部の名称

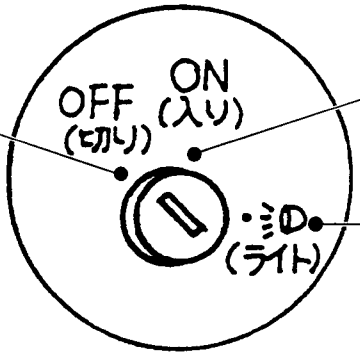




運転装置・各部の名称と取扱い

• 電源スイッチキー

電源OFF(切り)
走行できません。
充電するときは，
この位置で行なって
ください。
この位置でキーを
抜いてください。



電源ON(入り)
走行できます。

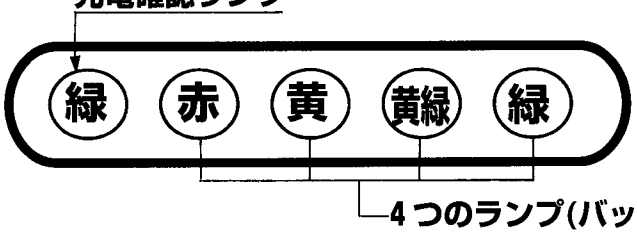
電源ON+(ライト)
走行できます。
ヘッドランプが
点灯します。

注 意

＊走行中にキーを「OFF(切り)」位置にすると，急停止して危険です。

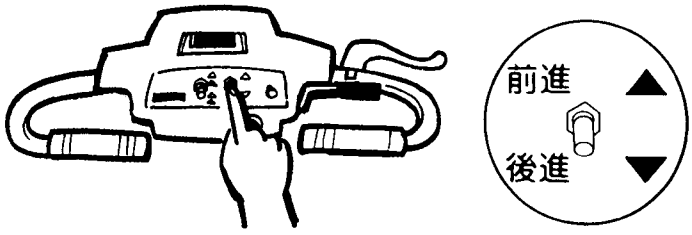
• バッテリメータ

充電中は緑色が点滅します。
充電を完了すると点灯にな
ります。(走行中は消えています。)



4つのランプはバッテリの残量を示します。
満充電時は，4つのランプが全て点灯します。
その後，使用量により，ランプが1つずつ
消えていきます。

• 前進／後進切換えスイッチ(赤いスイッチ)



前 進
上側に倒して前進します。

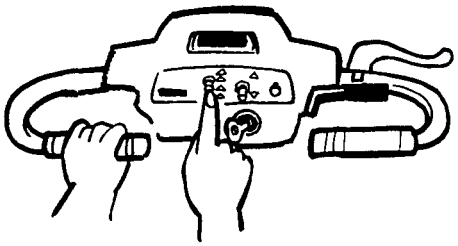
後 進
下側に倒して後進します。

注 意

＊走行中に赤いスイッチを切換えると停止します。
前進から後進に，また後進から前進に赤いスイッチを切換えるときは，必
ず一旦停止してから行なってください。

運転装置・各部の名称と取扱い

・速度切換えスイッチ(青いスイッチ)



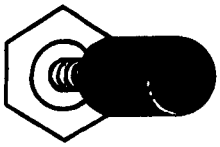
「速　い」‥‥上側に倒して
「普　通」‥‥‥‥‥真中で
「遅　い」‥‥下側に倒して

【最高設定速度と使用場所】

	遅　い	普　通	速　い
使用場所	坂道の下りや屋内	通常の走行	広く見通しのよい場所
前　進	1.5 km/h	4.5 km/h	6.0 km/h
後　進	1.0 km/h	1.5 km/h	2.0 km/h

上表の値は走行／停止レバーをいっぱい下に押し下げたときの速度です。

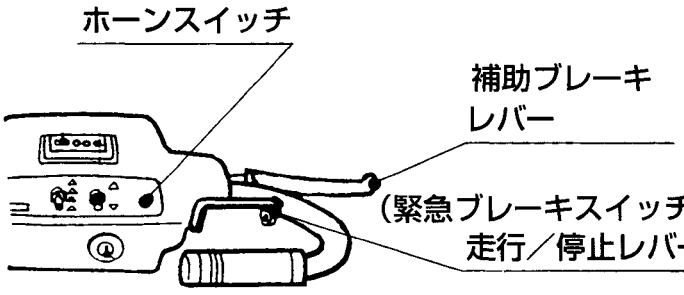
・ホーンスイッチ



(バネ内蔵スイッチ)

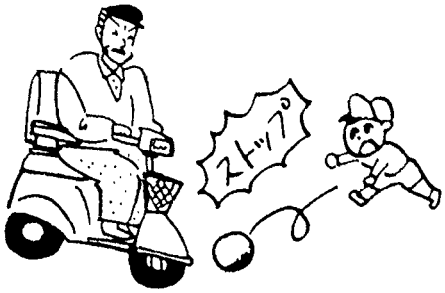
スイッチを押すと，ブザーがなります。

・走行／停止レバー(緊急ブレーキスイッチ付)



下に押えると走行し，レバーから手をはなすと停止する働きになっています。

レバーの押し加減で0から設定最高速度までの範囲で走行できます。

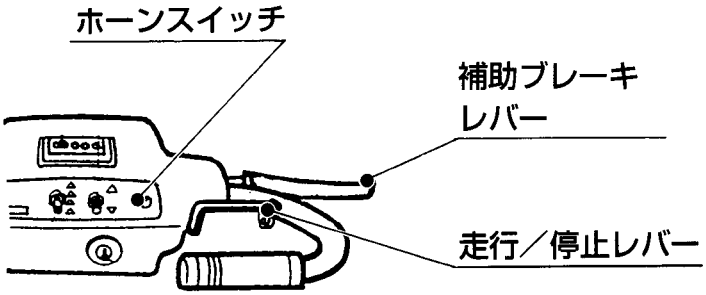


(緊急ブレーキスイッチ)
走行／停止レバーを強く握りしめても，ブレーキが働く補助機能が付いています。

運転装置・各部の名称と取扱い

・補助ブレーキ

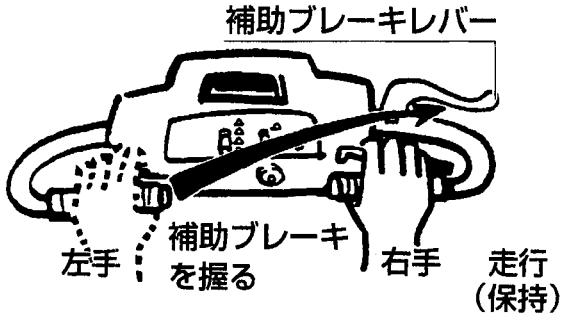
補助ブレーキレバーを手で握ると前輪ブレーキがききます。



手押しで動かしているときに,このレバーを握ると前輪のブレーキが,かかります。

注　意

＊走行／停止レバーを押さえた状態〔走行状態〕で補助ブレーキレバーを握っても機械は停止しません。
＊停止するときは、走行／停止レバーをはなしてください。また図の様な無理な姿勢で操作すると、ハンドルをとられ転倒する恐れがありますので避けてください。



運転装置・各部の名称と取扱い

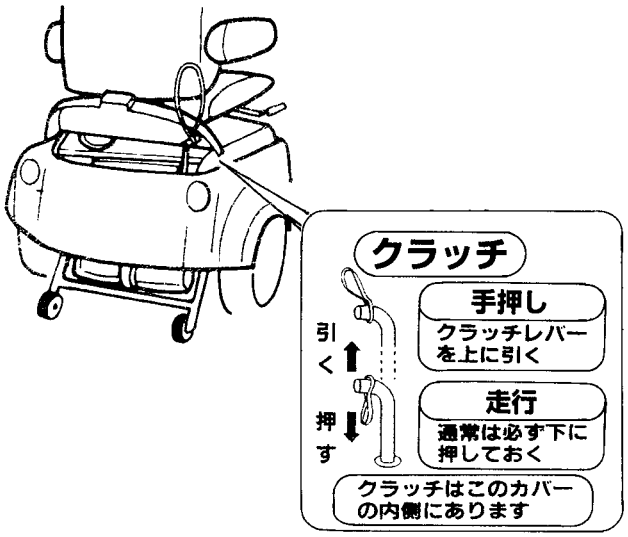
・クラッチレバー(手押しで動かす必要のあるときに使用)

警　告

＊クラッチレバーが「手押し」位置では，ブレーキがききません。

＊転倒・衝突の恐れがありますので，クラッチレバーを「手押し」位置にして乗車走行しないでください。

●クラッチレバーを切換えるときは，必ず平坦な場所で行なってください。



「手押し」位置

手押しでラクーターを動かすことができます。

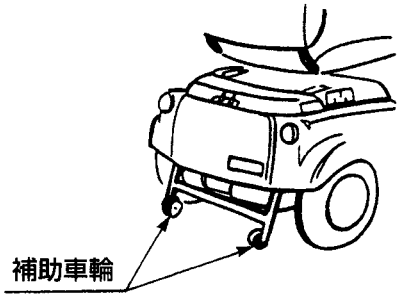
「走行」位置

通常走行する場合は，この位置にしてください。

●手押しで移動時は、両手でハンドルを持って移動させてください。緊急時には、右手で補助レバーを握って停止してください。

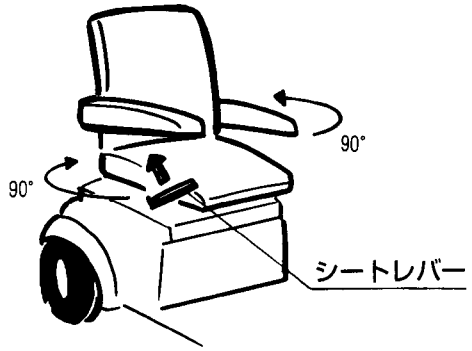
運転装置・各部の名称と取扱い

・後方補助車輪



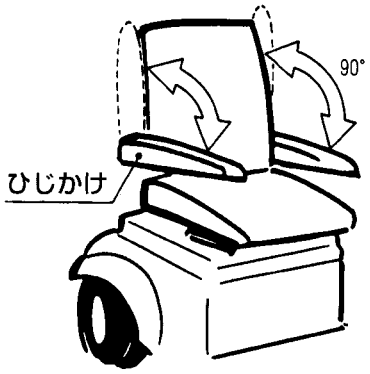
後転防止のため補助車輪がついています。

・シートの回転(ED-37，ED-37P)



シートレバーを上に持ち上げることによって，シートを左右90度回転できます。

・ひじかけの回動



ひじかけは，上側に回動させることができます。乗り降りのときに上側に回動させると容易に乗り降りができます。

・ハンドル調整及びシート調整

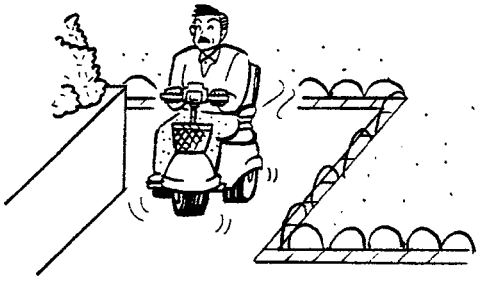
- ハンドルは，前後10度の角度調整ができます。
- シートの高さは上下に50mm調整できます。(ED-37，ED-37P)
- シートは前後に50mm調整できます。
- シートレバーの位置の変更ができます。(ED-37，ED-37P)

調整方法は「納入時組立要領書」の「B.ハンドル調整及びシート調整」を参照してください。

運転補助装置の働き

ラクーターには、いろいろな運転補助装置を装備しています。
運転補助装置の働きをご理解の上，快適に走行してください。

ステアリング減速装置



・カーブでのスピードの出し過ぎを防止する装置です。
・速度切換えスイッチの「速い」で走行中には，ハンドルを約20度以上切るとステアリングセンサが感知し，自動的に速度を30%減速させます。

オートクルージングシステム（一定速度走行装置）

・クボタ独自のマイコン制御により，平坦路・坂道（上り・下り）に関係なく（7度以下）走行／停止レバーに応じた一定の速度が保たれます。

過熱防止装置

・長い上り坂やタイヤ空気圧が減った状態での走行時，温度上昇の装置が働いて停止することがあります。
・電源スイッチをOFF(切り)にして2～5分間休んだ後引き返すか，十分冷やしてから走行してください。

前進／後進切換えスイッチ誤操作防止装置

・走行中に前進／後進切換えを行なうと停止します。
・走行／停止レバーを一旦はなし，スイッチを元の位置に切換えてください。

警告機能

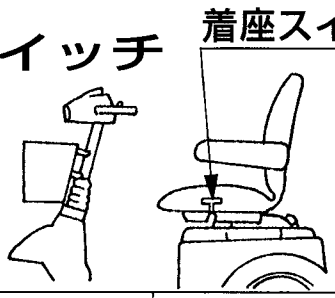
ラクーターには，次の警告機能がついていて，警告ブザーが鳴ります。

後進時の警告ブザー

前進／後進の切換えスイッチを「後進」位置にすると，断続的に警告ブザーが鳴ります。

警告ブザーの鳴り方	警告の意味	処置のしかた
断続音 「ブー，ブー， ブー」と鳴る	後進時	後方に注意して後進してください。

着座スイッチ



運転者が着座し，その体重を感知しないと動かない機構になっています。

警告ブザーの鳴り方	警告の意味	処置のしかた
連続音 ブザーが 「ブー」と鳴る	着座しないで電源スイッチをON(入り)にした。	電源スイッチをOFF(切り)にして着座してください。
	走行中にシートから腰を上げたり，ずらしたりしたために停止した。	走行／停止レバーを一旦はなし，きちんと座りなおしてください。
	電源スイッチをOFF(切り)にしないでラクーターから離れた。	電源スイッチをOFF(切り)にしてキーを抜いてください。

警告機能

誤操作警報

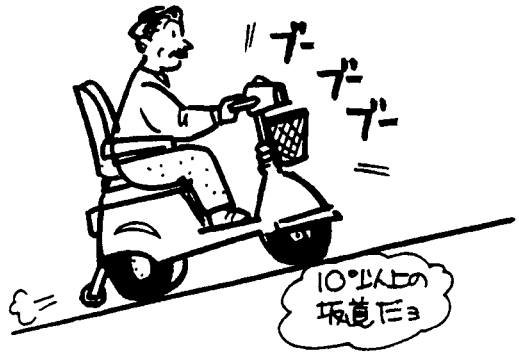
走行／停止レバーを押えた状態で電源スイッチをON（入り）にすると発進しません。

警告ブザーの鳴り方	警告の意味	処置のしかた
断続音 「ブッ、ブッ、 ブッ」と鳴る	走行／停止レバーを押えた状態で電源スイッチをON(入り)にしたため発進しない。	走行／停止レバーを一旦はなし， 再操作してください。

坂道警報装置

10度以上の坂道を上ったときは，

警告ブザーが鳴ります。



警告ブザーの鳴り方	警告の意味	処置のしかた
断続音 「ブー，ブー， ブー」と鳴る	登坂角度10度以上の急な坂道を登っています。	このような坂は避けてください。 ゆるやかな坂又は平坦路に戻れば， 警告は止まります。
	タイヤの空気圧が減って負荷が大きくなっています。	180~200kPa（1.8~2.0kgf／cm^2）のタイヤ空気圧に補充してください。 (39ページ参照)

走行前の点検

注 意

＊走行する前に必ず次の項目について点検し，異常がないことを確認してください。
異常があれば，そのままでは使用しないでお買上げの販売店にご相談ください。

点検箇所	点　検　内　容
バッテリメータ	全部のランプがついていますか？
前進／後進切換えスイッチ	前進しますか？後進しますか？
速度切換えスイッチ	速度は変わりますか？
ヘッドランプ	ランプは点灯しますか？
ホーンスイッチ	ブザーはなりますか？
走行／停止レバー	押し下げると走行し，はなすと停止しますか？
緊急ブレーキスイッチ	走行中に強く握ると停止しますか？
補助ブレーキ	ブレーキは作動しますか？
ハンドル	ゆるみやガタはありませんか？
	左右スムーズに動きますか？
充電コード	亀裂や損傷はありませんか？
反射器	汚れや損傷はありませんか？
タイヤ	空気圧は減っていませんか？ 適正空気圧は180～200kPa(1.8～2.0kgf/cm²)です。
	摩耗や損傷はありませんか？
	釘，石などの異物が刺さっていませんか？
その他	車体やシートにゆるみや、ガタはありませんか？
	異常な音はしませんか？

運転のしかた

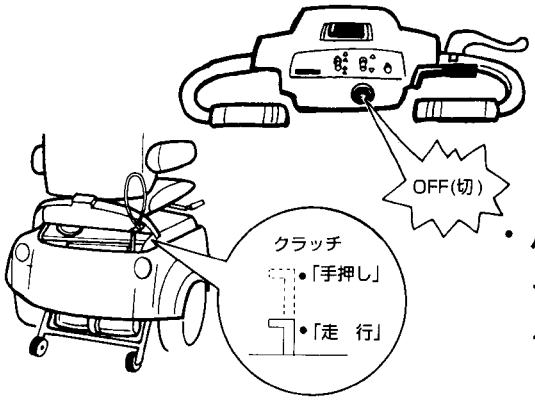
注 意

＊ラクーターには平坦な場所で乗り降りしてください。

運転のまえに

1 **・乗る前にまず確認してください。**

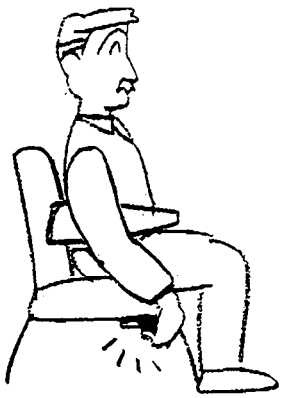
・①クラッチレバーが「走行」位置，
②電源スイッチがOFF(切り)になっていること。



・バックミラー(オプション)装着時，バックミラーに後方が正しく写るように調整してください。

---

2 **・正しい運転姿勢をとってください。**



シートに深く腰をかけてひじかけを下までいっぱい降ろし，シートの回転がレバーで固定されているか確認してください。

補　足

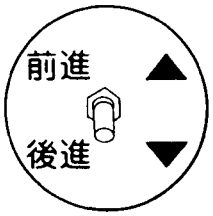
＊すわらないでメインスイッチをON(入り)するとブザーが「ブー」と鳴り，動きません。

＊楽に操作が出来ないときは、ハンドル調整及びシート調整を行なってください。(P.18参照)

運転のしかた

発進するとき

1 ・赤い前進／後進切換えスイッチの位置を確認してください。



前進／後進切換えスイッチ‥‥前進と後進を切換えるスイッチです。
「上側へ倒して」‥‥‥‥前進します。
「下側へ倒して」‥‥‥‥後進します。

後進時はブザーが「ブーブー」と鳴ります。

---

2 ・青い速度切換えスイッチ「遅い」の位置にしてください。

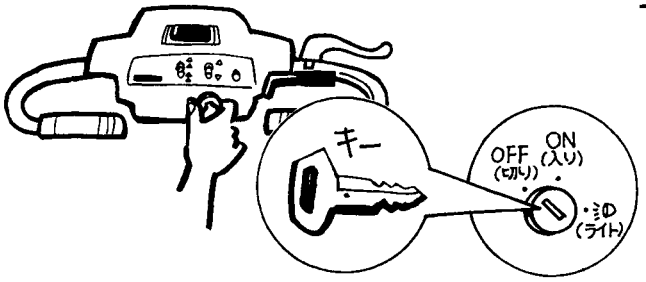
運転に慣れるまでは「遅い」位置で走行してください。

速度切換えスイッチ‥‥‥‥‥速度を「遅い・普通・速い」に切換えるスイッチです。

「上側へ倒して」‥‥‥速い
「真中で」‥‥‥‥‥‥‥普通
「下側へ倒して」‥‥‥遅い

---

3 ・電源スイッチにキーを差し込み，ON(入り)にしてください。



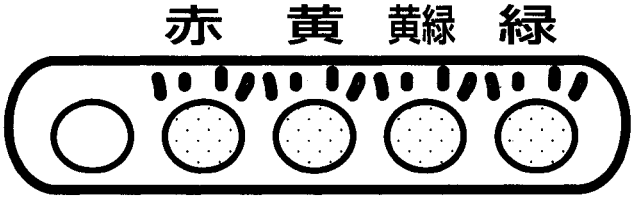
キースイッチ…OFF(切)‥‥駐車・収納・充電時
ON(入)‥‥ 走行時
‥‥‥‥‥ ライト点灯走行時
(暗い時は「」にして，ヘッドランプを点灯してください。)

---

4 ・バッテリメータが全部(4つ)点灯していることを確認してください。

重 要

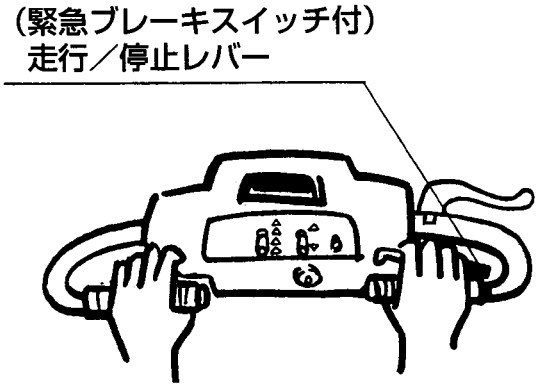
＊バッテリの残量の確認は，2〜3分走行してから行なってください。
＊もし，赤と黄のみの点灯になったら必ず充電してください。
(充電のしかたは29ページ参照)



運転のしかた

5 ・走行／停止レバーをゆっくり押し下げて発進してください。

進路の安全を確かめてから，発進してください。



安全確認よし！

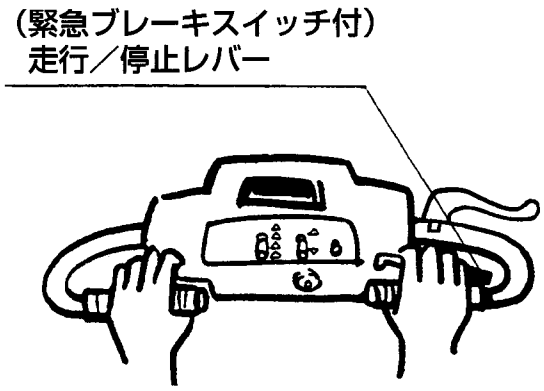
運転のしかた

走行するとき

1 **・スピード操作は，走行／停止レバーを少し押さえるとゆっくり，深く押さえると速くなります。**

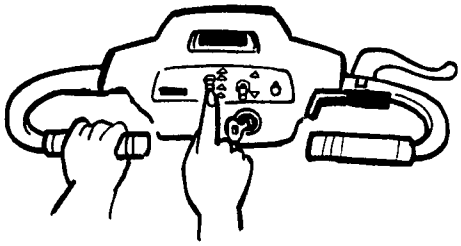
・走行／停止レバーの操作だけで，加速・減速ができます。

・「速い」「普通」「遅い」の切換えは走行中にもできます。



---

2 **・走行しながら状況により速度切換えを行なってください。**



補　足

＊「速い・普通・遅い」速度の使い方と使う場所を正しくしっかりおぼえてください。（P.15参照）

＊運転に慣れるまでは，速度切換えスイッチを「遅い」にします。慣れた後は，必要に応じて「普通」「速い」をお使いください。　後進するときも３段階「速い」「普通」「遅い」になります。

「上側へ倒して」‥‥速い
「真中で」‥‥‥‥‥‥普通
「下側へ倒して」‥‥遅い

注　意

＊走行中に電源スイッチキーを「OFF(切り)」にすると急停止して，ハンドルをとられたり，転倒する恐れがあります。特に，後進走行中には絶対に電源スイッチキーを「OFF(切り)」にしないでください。

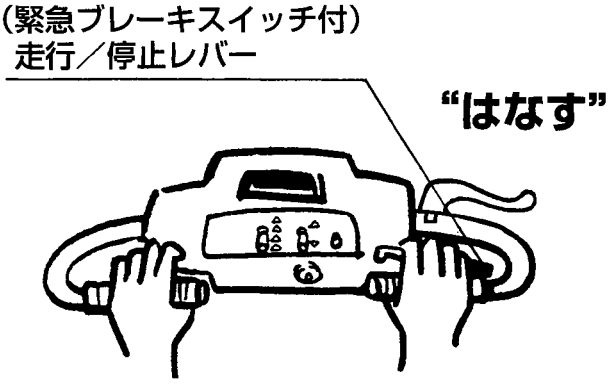
＊走行中に誤まって赤い前進・後進切換えスイッチを切換えると停止します。走行／停止レバーを一旦はなし，赤い前進／後進切換えスイッチを元の位置に切換えてください。

運転のしかた

停止するとき

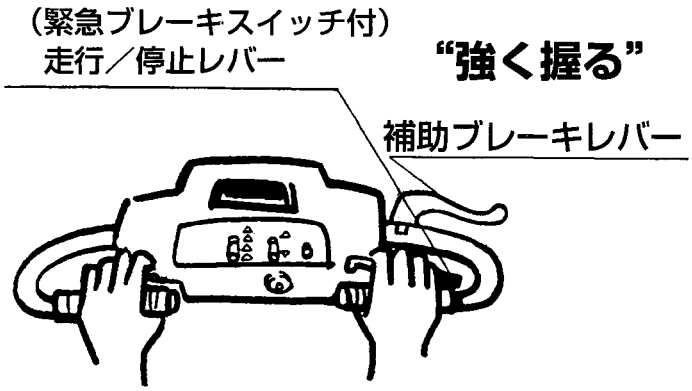
〈通常停止するとき〉

・走行／停止レバーから手をはなしてください。
・ゆっくり手をはなすとスムーズに停止します。



〈緊急停止するとき〉

●走行／停止レバーを強く握ったときも停止します。(緊急ブレーキスイッチ)
・再度，発進するときは，走行／停止レバーを一旦はなして，再度押えてください。



補　足

《緊急停止（緊急ブレーキスイッチ）》

＊緊急時，思わず走行／停止レバーを強く握ってしまうので，この場合緊急ブレーキスイッチが作動して機械は停止します。（強く握らないと停止しないことがあります）
＊通常停止したいときは，走行／停止レバーから手をはなすことを習慣づけてください。

降りるとき

・平坦な場所を選んで車を完全に止めてください。

・赤い前進／後進切換えスイッチを「前進」，青い速度切換えスイッチを「遅い」にしてください。

・降りるときは電源スイッチをOFF(切り)にして，キーを抜いてください。

注　意

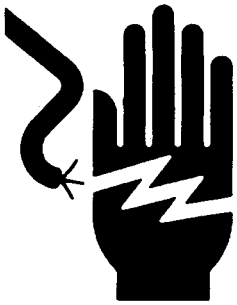
＊キーは無断で使用されたり，子供のいたずらを防ぐためにも厳重に保管してください。

充電のしかた

⚠ 警 告 (充電時の注意)

引火爆発の恐れがあります。
充電中にバッテリに火気を近づけないでください。

・バッテリは充電中に可燃性のガスを発生することがありますので，バッテリに火気を近づけたり，バッテリの近くで喫煙しないでください。
・他の充電器で行う急速充電は絶対しないでください。
・充電は直射日光を受けない，風通しのよい所で行なってください。



感電の恐れがあります。
濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。

次のような場合は感電する恐れがありますので，注意してください。
・雨・露を受けない所，湿気の少ない所で充電してください。
・雨・露などで車体や充電コード・プラグが濡れているときは、乾くまで待って充電してください。
・濡れた手は，よくふき取ってから充電してください。

重 要

＊次の場合はバッテリの故障の原因になりますので避けてください。
●ラクーター専用以外の充電器で，バッテリを充電しないでください。
● エンジン付発電機の電源で，バッテリを充電しないでください。
● バッテリの放電のし過ぎも，充電のし過ぎも，バッテリの寿命を短くします。
●充電完了後(充電確認ランプが点滅から点灯に変わった後)に，再充電することは避けてください。
これを何回も繰り返すと，バッテリを傷め寿命が短くなります。

充電の必要なとき

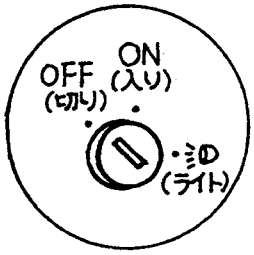
・購入後，初めてご使用になるときは必ず充電してください。
・通常は次の走行時間を目安にして充電してください。

標準バッテリ型(ED-37,ED-37P)は	30分以上(約2～3km以上)走行後
大型バッテリ型(ED-37L)は	2時間以上(約12km以上)走行後

・バッテリメータが 赤 黄 (●●○○) になったら必ず充電してください。
・バッテリは自然放電します。ラクーターを長期間使用されなかったときは，2～3ヵ月に一度は充電してください。

充電のしかた

1 ・電源スイッチをOFF(切り)にして，キーを抜いてください。



2 ・後カバーを開いて充電コードを引出してください。
・充電コードのプラグを家庭用AC100Vコンセントに確実に差し込んでください。

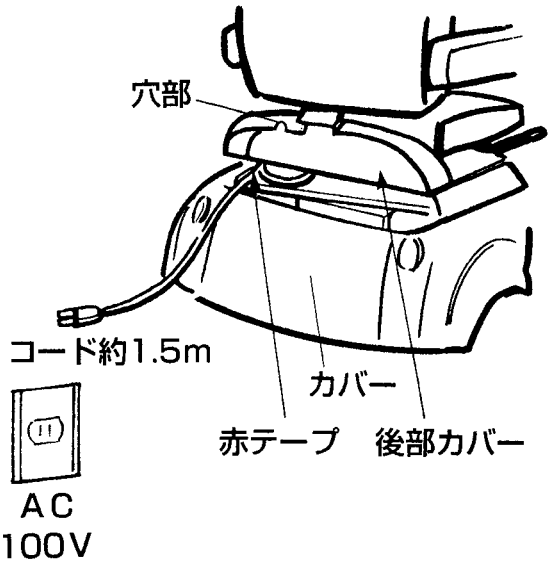
重　要

＊他の電気製品を使用していない単独のAC100Vのコンセントに差し込んでください。

＊何かの事情でコンセントの電圧が低くなっている場合は充電が完了しないことがあります。

＊充電コードを強く引張ったり，赤テープより引出すと，コードリールの故障の原因となります。

＊充電コードを後カバーとカバーの間に挟まないでください。後カバーを閉める時はコードは後カバーの穴部に確実に通してください。

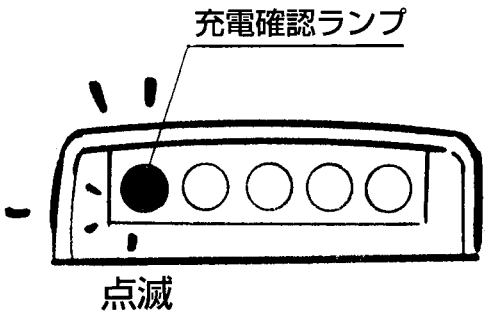


補　足　＊コードの長さが不足のときは，決められた延長コードを使用してください。

延長コードの長さ	コードの種類
１０mまで	ビニール絶縁電線　３００V　0.75mm^2　１０A以上
１０～２０mまで	ビニール絶縁電線　３００V　1.25mm^2　１０A以上

3 ・バッテリメータの充電確認ランプが点滅しているか確認してください。
・バッテリメータ左端の充電確認ランプが点滅していると、充電が開始されています。

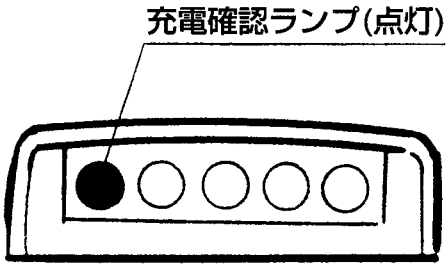
補　足　・もし、点滅しないときは、ドライヤなどの他の電気製品をつないで通電しているかを確認してください。



充電のしかた

4 **・充電確認ランプが，点滅から点灯になったら充電は完了です。**

● 充電が完了したら，自動的に電気が遮断されます。



充電完了までの所要時間の目安(バッテリ新品・常温時)

		ED-37,ED-37P	ED-37L
バッテリメータ	赤のみが点灯時 ● ○ ○ ○	**10～14時間**	**13～16時間**
	赤と黄が点灯時 ● ● ○ ○	**7～11時間**	**11～14時間**
	赤・黄・黄緑が点灯時 ● ● ● ○	**4～8時間**	**9～12時間**

---

5 **・充電が完了したら，充電コードのプラグの根元を持ってコンセントから抜き，収納してください。コードを少し引くと自動的に巻取られます。**（コードをねじると変形して巻取られ難くくなります）

補　足

＊コードは次に使用するまで抜かなくても差し支えありません。

バッテリの取扱い

バッテリが劣化すると，ラクーターの走行時間が短くなり，本来の性能を発揮しなくなります。次のことに注意して，少しでもバッテリを長持ちさせてください。

バッテリメータの表示と連続走行時間の目安

【新品バッテリ・満充電・常温・最高速度・標準体重(75kg)・平坦路・70%放電までの時間】

バッテリメータの表示	連続走行時間の目安	
	標準バッテリ型 ED-37(P)	大型バッテリ型 ED-37L
赤 黄 黄緑 緑 ○●●●●	5時間	9時間
赤 黄 黄緑 ○●●●○	2時間	4時間
赤 黄 ○●●○○	バッテリの残量が少ないので，すぐに充電してください。	
赤 ○●○○○	短時間で走行できなくなります。	

・実際の走行時には条件(坂道や冬場)が異なるため，走行時間は表の値より短くなりますので，ご承知おきください。

補　足

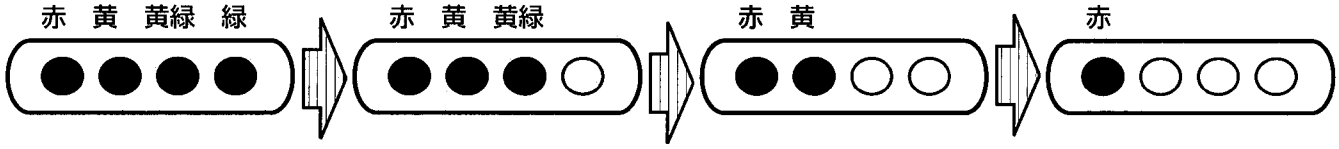
＊使用経過と共に，バッテリ容量が低下しますので，走行時間は段々短くなります。
＊冬場はバッテリの働きがにぶるため，バッテリメータが早く消える傾向があります。

バッテリの取扱い

バッテリの取扱いのしかたと注意事項

1 バッテリメータの表示と上手な使い方

●バッテリメータはバッテリの残量を示しています。バッテリの残量は走行距離が長くなるにつれて減り，バッテリメータのランプが１つずつ消えてゆきます。



●平坦路走行時に

や

になると，バッテリの残量が少なくなっています。このような使い方ををくり返すとバッテリの寿命が短くなります。

・平坦路走行時に

から

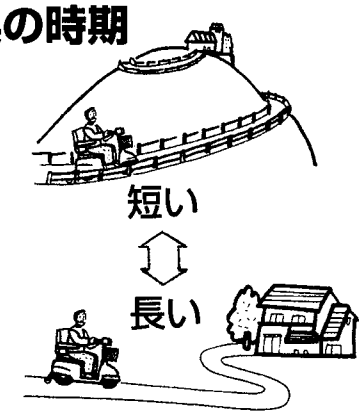
の範囲でお使いになるのが安心して乗っていただくための，上手な使い方です。

●上り坂では，バッテリをたくさん使うので，平坦路に比べてランプが早く消えて行きます。上り坂では速度を落とすことが，電気の消費量を少なくする上手な使い方です。

・平坦路から上り坂にかかったときにランプの色が変わることがありますが、上り坂では一時期にたくさんの電気を使うためで心配はありません。

---

2 バッテリ交換の時期



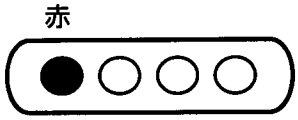
●バッテリは消耗品です。

・バッテリの寿命はラクーターを使われる回数・走行距離・場所(坂道・平坦路)など条件によって異なります。

・山間部(坂道の多い所)は，平野部に比べて寿命は短くなります。

●次のようになったときは，早目にバッテリを新品に交換してください。

・日常のご使用において，バッテリメータのランプが

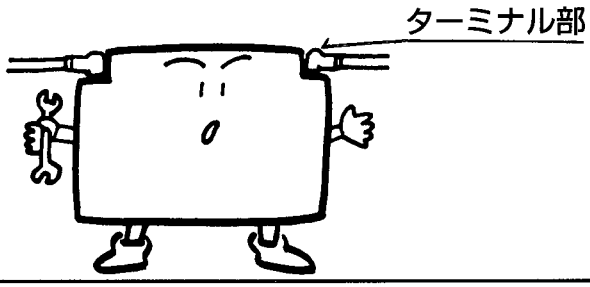
で出発して、戻ってきたときに 

になることが多くなったとき。

・一回の走行できる距離が新品時に比べて，半分以下になったと確認できたとき。

バッテリの取扱い

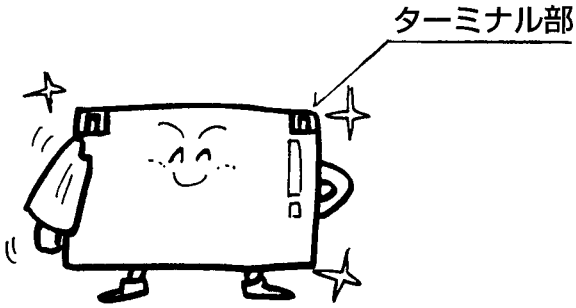
3 バッテリの保守



・ラクーターのバッテリは，密閉型ですので，補水の必要はありません。

・バッテリを交換又は取外し・取付けしたときは，ターミナル部との接続にゆるみがないよう，確実に締付けてください。

4 バッテリの清掃



・水・電解液・ほこり・ゴミなどが付着していると，バッテリが放電しやすくなります。固く絞った濡れ布切れなどでよく拭取ってください。

・ターミナル部に白い粉がついているときは、ぬるま湯で拭くとよく落ちます。

5 バッテリに直接触れる作業上の注意

・通常の充電作業の他に，バッテリカバーを外してバッテリに直接触れる作業を行なう場合は，次のようなバッテリに貼付してあるラベルの注意事項に従ってください。

バッテリの本体表示(ラベル)

危険・警告

・㊉端子と㊀端子を接触させないでください。火傷や発煙・爆発などの原因になる恐れがあります。
・バッテリに火気を近づけないでください。火気が原因で引火・爆発の恐れがあります。
・バッテリは内部に劇物の希硫酸を保持しています。バッテリが漏液して液が目に入ったときは，すぐにきれいな水で洗った後，医師の治療を受けてください。
・分解・改造しないでください。分解・改造するとバッテリを漏液，発熱，爆発させる原因になることがあります。
・密閉状態(容器など)での充電はしないでください。容器の破裂による人身損傷の原因になる恐れがあります。

※本体表示は，メーカにより若干表現が異なります。

バッテリの取扱い

注 意

・バッテリの点検は，電源スイッチをOFF(切り)にし，充電コードをコンセントから抜いた状態で行なってください。
・バッテリを持ち上げるときは，必ず両手で持ってください。
・バッテリは正しい向きで載せ，確実に固定してください。
・電動カートのバッテリを人工呼吸装置等の生命維持装置の電源等には使用しないでください。

6 バッテリの交換

・交換が必要なときは，必ず純正バッテリを使用してください。純正以外のバッテリを使用すると故障の原因となりますので，保証できません。

純正バッテリ	ED-37，ED-37P型	ユアサ	NPC38－12
	ED-37L型	松 下	LCL65V12

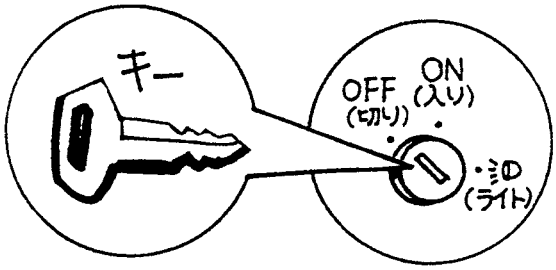
注 意

＊不要になったバッテリは取扱い・処置に注意してください。
・バッテリの廃棄時は、お買上げの販売店にご相談ください。
・火の中に入れたり，分解しないでください。

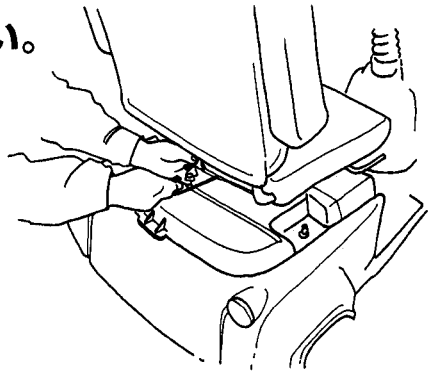
バッテリの取扱い

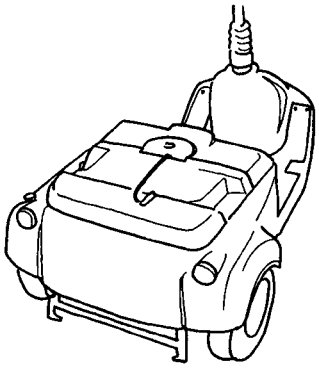
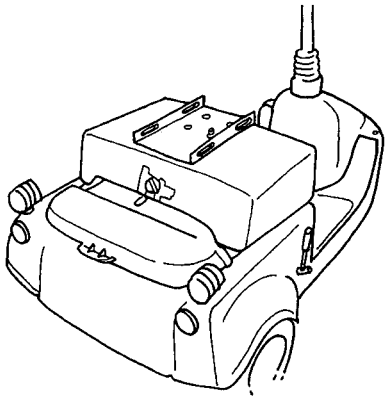
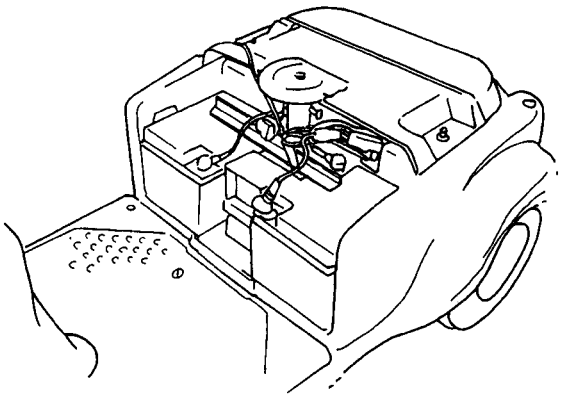
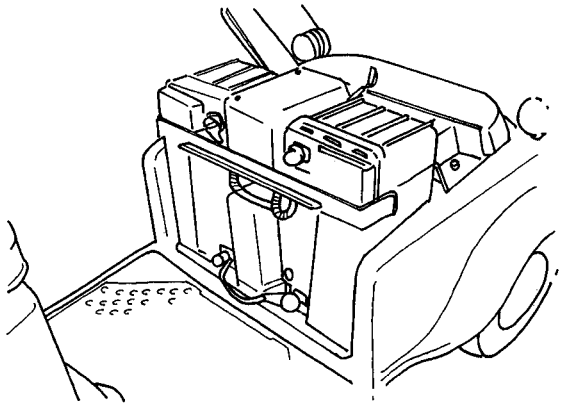
バッテリの取外し方

1 電源スイッチをOFF(切り)にして，
必ずキーを抜いてください。



2 シートスイッチのコネクタを外してください。



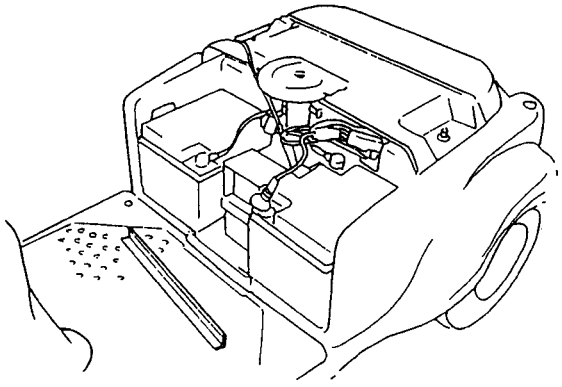
ED-37,ED-37P	ED-37L
3 シートを取外してください。	**3** シートを取外してください。
	
4 バッテリカバーを取外してください。	**4** バッテリカバー取付けボルトをゆるめて、カバーを取外してください。
	

バッテリの取扱い

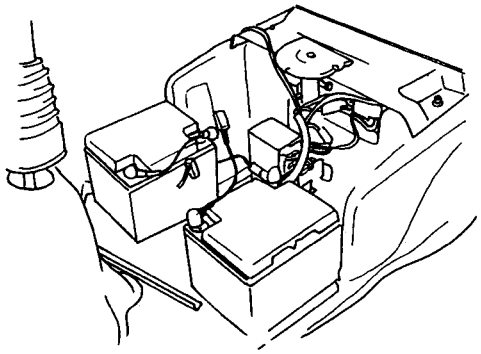
バッテリの取外し(続き)

ED-37,ED-37P

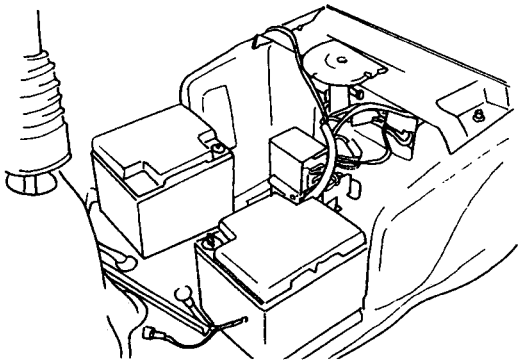
5 バッテリ固定金具を取外してください。



6 バッテリ接続コネクタ(2ヵ所)を外しバッテリをステップ部に移動してください。



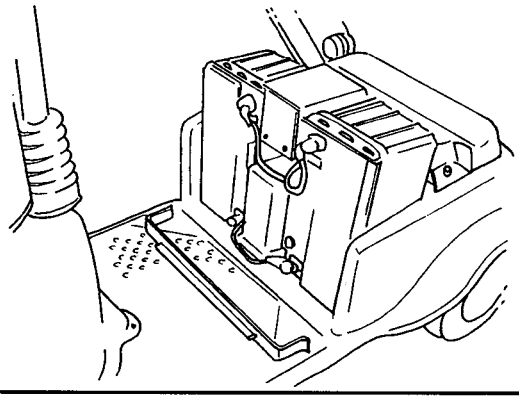
7 バッテリの接続配線を取外してください。



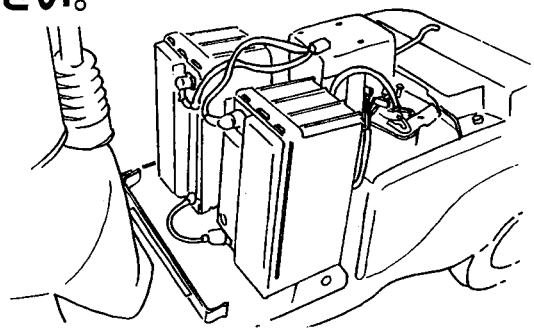
バッテリ重量　1個　約14kg

ED-37L

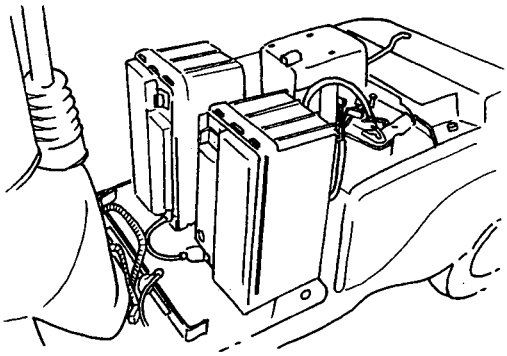
5 バッテリ固定金具を取外してください。



6 バッテリ接続コネクタ(1ヵ所)を外しバッテリをステップ部に移動してください。



7 バッテリの接続配線を取外してください。



バッテリ重量　1個　約20kg

危　険

＊接続配線を外すとき，⊕側の配線が⊖側に，⊖側の配線が⊕側に接触したり工具などの金物が⊕側と⊖側を短絡させると火花が出て人身事故及び故障の原因となります。

バッテリの取扱い

危　険

＊万一落として破損した場合，バッテリには人体に有害な希硫酸が入っています。目・皮膚及び衣服などについたときは，直ちに多量の水で洗い流し，専門医師の治療を受けてください。

注　意

＊バッテリは重いので落下させる恐れがあります。必ず，両手で持ってください。

＊バッテリの接続配線を持って持上げないでください。

＊電動カートのバッテリを人工呼吸装置等の生命維持装置の電源等には使用しないでください。

バッテリの取付け方

取付け方は，取外し方と逆の手順で行なってください。

危　険

＊接続配線をつけるとき，⊕側の配線が⊖側に，⊖側の配線が⊕側に接触したり，工具などの金物が⊕側と⊖側を短絡させると火花が出て人身事故及び故障の原因となります。

重　要

＊接続配線をバッテリにつけるとき，赤の配線は⊕側に、黒の配線は⊖側につけてください。逆に付けると，充電器の故障につながります。また，ヒューズが切れて走行できなくなります。

＊バッテリは，正しい向きで取付けてください。

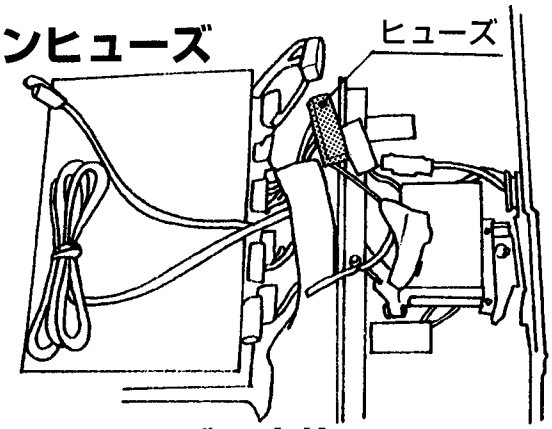
＊バッテリは，固定金具で確実に固定してください。（バッテリと固定金具の間に接続配線をはさまないでください。

保守のしかた

ヒューズ

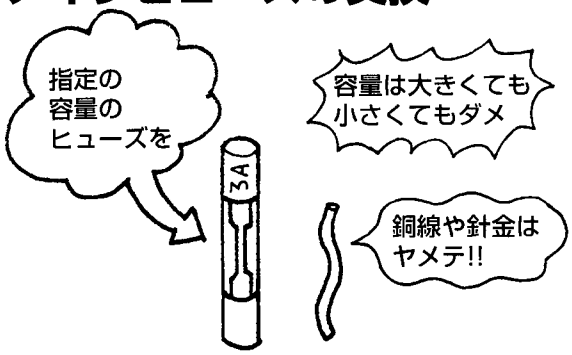
電気回路を保護するため，ヒューズが取付けてあります。

メインヒューズ



● メインハーネスの途中に取付けてあります。このヒューズが切れると，電源スイッチをON(入り)にしても，バッテリメータの全てのランプは点灯せず，走行できません。

メインヒューズの交換

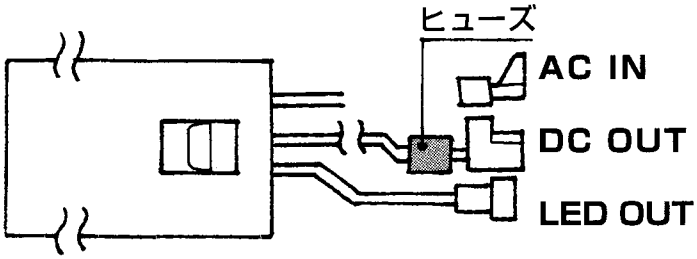


● 充電器の上のヒューズケースを開け，目視点検または導通テストを行なう。

管ヒューズ	3A

充電器保護ヒューズ［ED-37Lのみ］

充電器保護ヒューズ



● 充電器のDC出力のヒューズケースを開け，目視点検または導通テストを行なう。

管ヒューズ	8A

その他の保守のしかた

● 走行する前の点検のときはP.22の走行前の点検項目で，日常点検・整備のときは，P.48の定期点検項目について点検し，異常があれば，整備・修理を行なってください。

● 専門的な技術や特殊な装置・工具・検査具などを必要とするときは，お買上げの販売店にご相談ください。

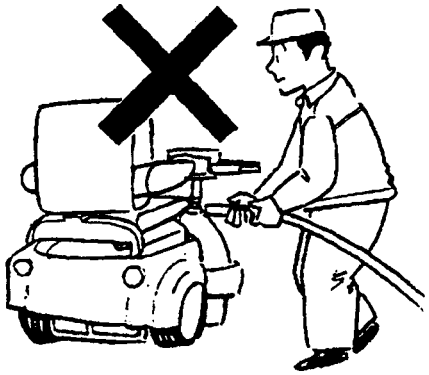
手入れと保管

注 意

※点検・整備をする前に，必ずキースイッチをOFF(切り)にして，充電差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

ラクーターは，あなたにとって大切なものです。お掃除をしたり，タイヤなどにキズや悪いところがないかを点検して，日頃から手入れをしてください。

1 掃除のしかた



ぬれ雑巾で汚れを落としてください。汚れのひどい所は中性洗剤で拭いてください。

重 要

＊ラクーターは，電気部品をたくさん使用しています。故障の原因となりますので，水洗は絶対しないでください。

＊カバーをガソリン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。変形・損傷などの原因となります。

2 タイヤの空気圧の点検・調整

警 告

＊タイヤの空気圧は、取扱説明書（➡P.40）に記載している適正空気圧を必ず守ってください。空気の入れ過ぎは、タイヤ破裂の恐れがあり死傷事故を引き起こす原因になります。

＊タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。タイヤ破裂の恐れがあります。

＊タイヤ、チューブ、リムなどの交換、修理は、必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行うように、法で決められています。空気の補充・調整は、特別教育を受ける必要はありません。）

手入れと保管

タイヤの空気圧

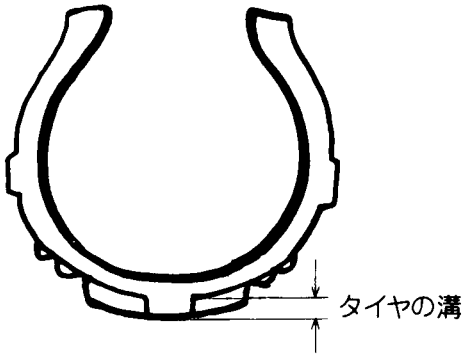
タイヤの適正空気圧

前輪・後輪共	180～200kPa (1.8～2.0kgf／cm²)

重　要

＊タイヤの空気入口は，自動車やバイクと同じです。
＊タイヤの空気圧は使用しているうちに減ってきます。タイヤの空気圧が減ると，路面との摩擦が増して電気をたくさん使うので，走行距離が短くなったり，バッテリの寿命が短くなったりします。また，速度も遅くなります。
＊タイヤの空気圧は3～6ヵ月毎に補充してください。
＊ガソリンスタンドやバイク店などで補充してもらってください。

タイヤの摩耗限度



タイヤの溝が0.5mm以下になったら交換してください。タイヤの溝がなくなり，スリップすると危険です。

3 保　管

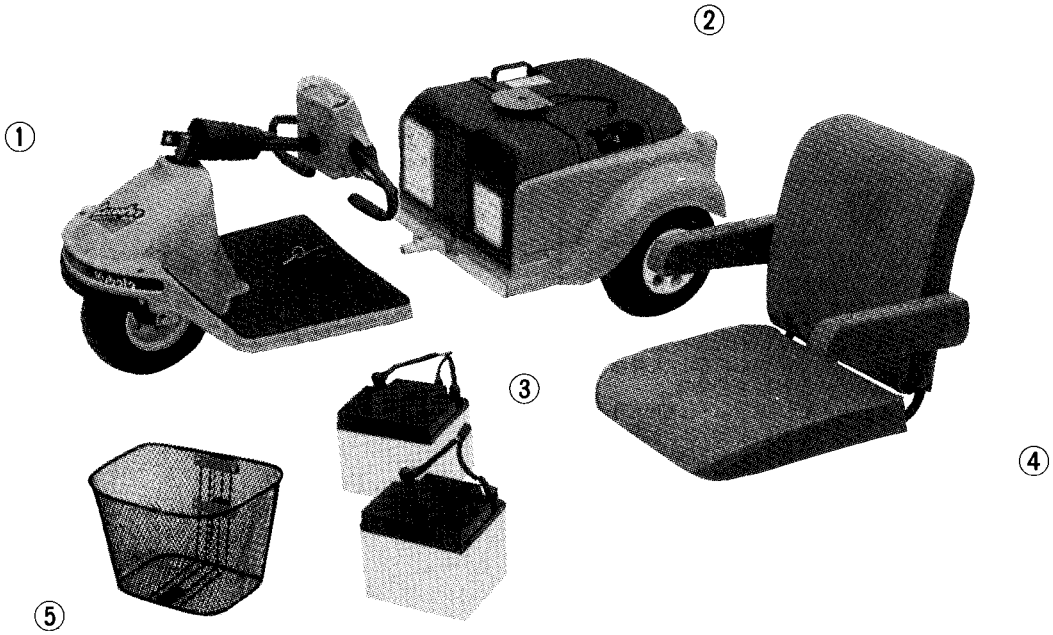
ラクーターは，屋内，又は軒先などでは車体カバーなどをかけて，雨や直射日光に当たらないように保管してください。

注　意

＊電源スイッチのキーは必ず抜取ってください。
＊クラッチレバーは「走行」位置にしてください。

分解・組立てのしかた【ED-37P】

ED-37P型は，国産機で初めての分割型ポータブルタイプ。
本体が前部・後部に２分割でき，バッテリなどの５つのユニットに分解できます。
ワンボックスカーやワゴンに積んで搬送でき，生活行動範囲がいっきに広がります。



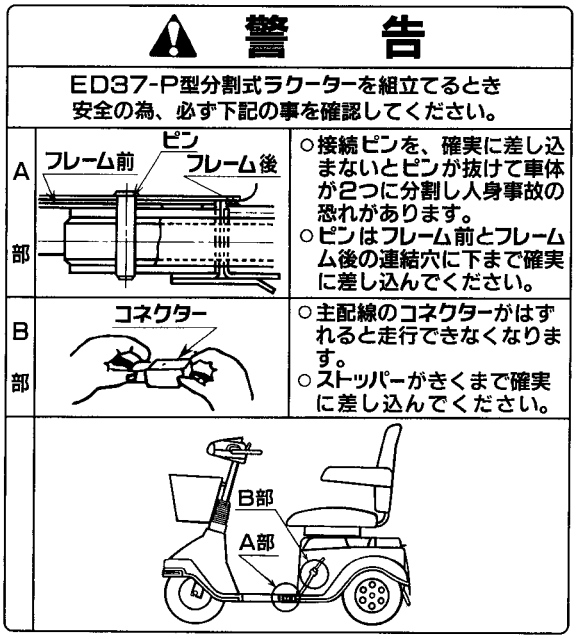
①前部
②後部
③バッテリ(２個)
④シート
⑤フロントバスケット

分解・組立はそれぞれ約５分。
一人でも作業ＯＫです。

分解・組立てのしかた【ED-37P】

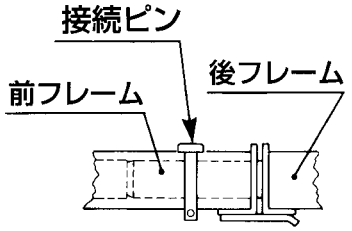
警 告

＊ED-37Pは分割式ですので組立が不十分だと重大な障害を起こすことがあります。
自分自身で以下の事項をよく確認の上，動かしてください。



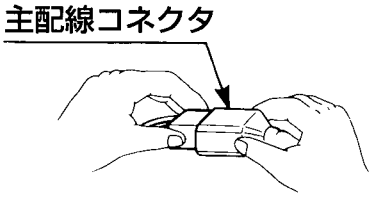
組立チェックと試運転

【チェック１】
フロアマット下の接続ピンが正しく取付けられているか？
ピン頭がフレームに当たるまで，深く組付けてください。



前フレーム孔を貫くこと(両側共)

【チェック２】
主配線コネクタが正しく取付けられているか？



ストッパが効くまで
確実に差し込むこと

※接続ピンを紛失しても、正規でないピン・鉄釘などは絶対に使わないでください。

【チェック３】(試運転)
「低速」で少しの間「前・後進」を行なって，
正常運転できるか確認してください。

安全のため，ED-37P型の分解・組立は必ず次の手順で行なってください。
また，組立後走行する前に，必ず上記の**警 告**の表示のある「組立チェック」に従い，自分自身で安全確認してください。

分解・組立てのしかた【ED-37P】

組立のしかたと安全チェック

1

- ハンドルを立てます。
- ハンドル下の蛇腹をめくると，フランジボルトがあり，これをバッテリ押え金具でしっかり締付けてください。。

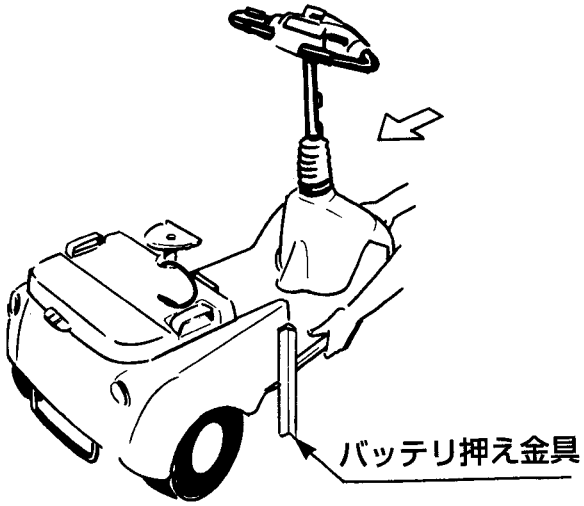
締付けトルク　フランジボルト
4.9～5.7kgf･m

2

- バッテリ押え金具をスタンドにして，後輪の前側に入れ，本体を支えてください。
- 前部・後部をほぼ水平にして，ハンドルを後ろに押して前部と後部を組付けてください。

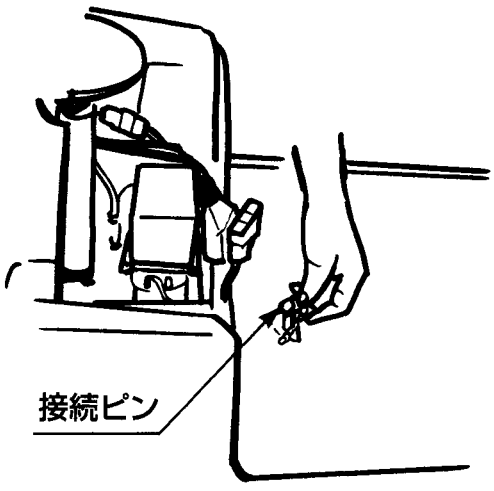
重　要

＊ワイヤハーネス(電気配線)をはさまないよう気をつけてください。



3

- 前部・後部のピン穴を組合せてください。
- マット後穴中央部の半楕円の切れ目をめくり，接続ピンを前フレームを貫くまで差し込んでください。



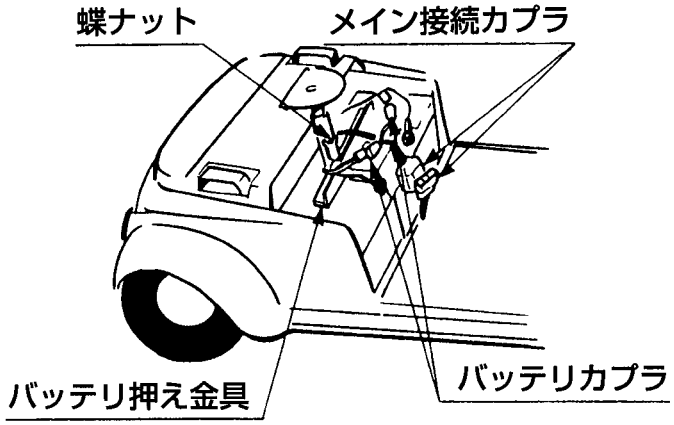
分解・組立てのしかた【ED-37P】

4

- バッテリをのせてください。
- コネクタ 3 ヵ所(メイン接続コネクタ，バッテリ接続コネクタ)を接続してください。
- バッテリを固定金具で固定してください。

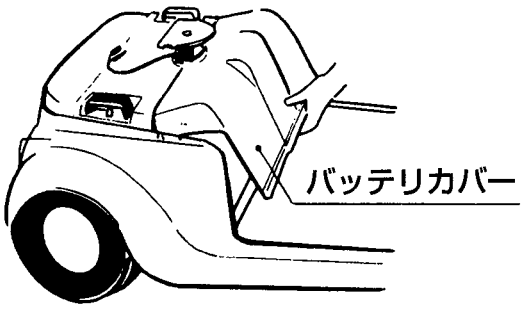
重　要

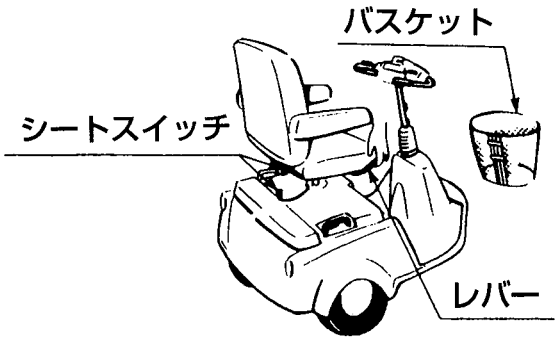
＊メイン接続カプラは，ストッパが働くまで確実に差し込んでください。
確実に差し込まれてないと走行しません。



5

- バッテリカバーを取付けてください。
- シートスイッチのコネクタを接続してください。
- ハンドルにフロントバスケットを組付けてください。





分解・組立てのしかた【ED-37P】

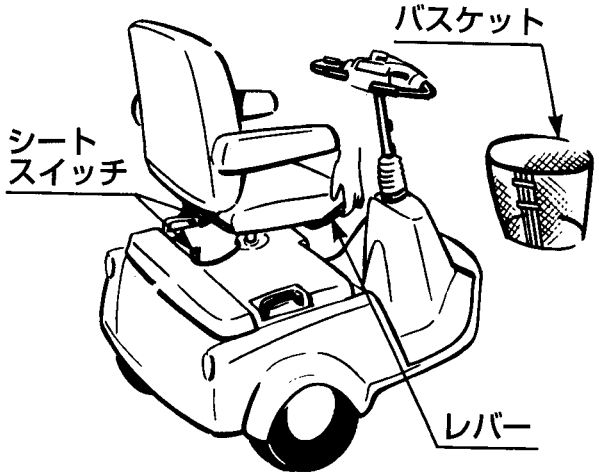
注 意

＊安全のため、必ず次の正規の手順で分解及び組立作業を行ってください。

分解のしかた

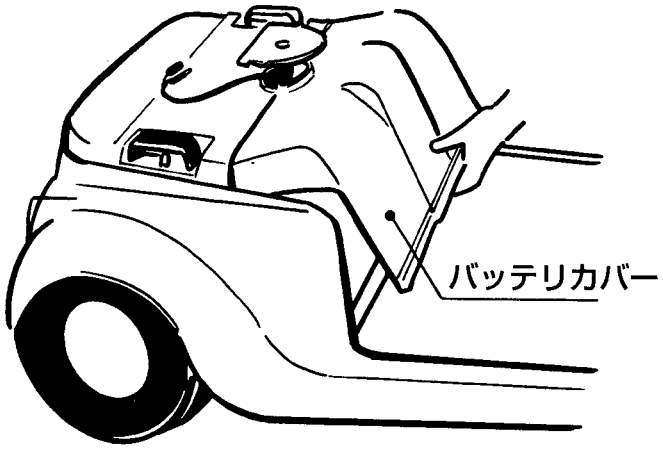
1

- 電源スイッチをOFF(切り)にし，キーを抜いてください。
- フロントバスケットをハンドル支柱に沿って持上げ，取り外してください。
- シートスイッチのコネクタを外し，シート(回転)レバーを持上げながらシートを外してください。



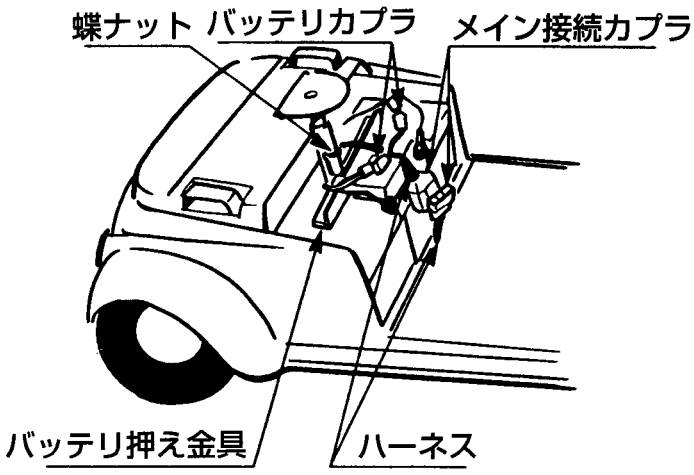
2

- バッテリカバーの前方下側を押すようにして持ち上げ，前側に引張って取外してください。



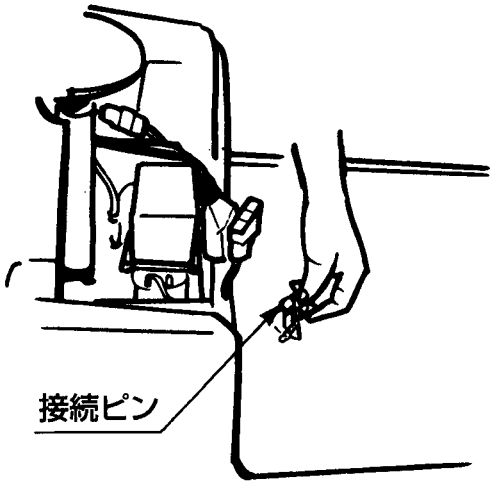
3

- コネクタ３ヵ所(メイン接続コネクタ，バッテリ接続コネクタ)を外してください。(メイン接続コネクタは，コネクタの両側面を押しながら外してください。
  又，ハーネスを持って引張らないようにしてください。)
- バッテリ固定金具を取外し，バッテリを下ろしてください。

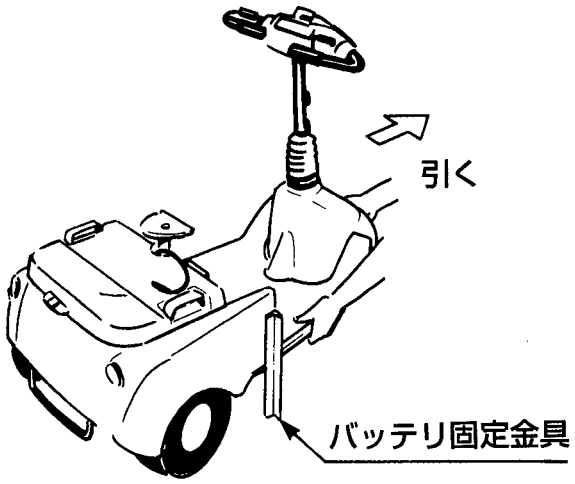


分解・組立てのしかた【ED-37P】

4 ● マット後方中央部に半楕円の切れ目があり，それをめくると接続ピンがありますので抜いてください。



5 ● 先に取外したバッテリ固定金具をスタンドにして後輪の前側に入れ，本体を支えてください。
● この状態から，ハンドル部を前に引いて分割してください。



6 ● ハンドル下の蛇腹をめくり上げるとボルトがあり，これをバッテリ固定金具でゆるめ，折りたたんでください。

分解・組立てのしかた【ED-37P】

車での輸送準備手順

(バンやキャンピングカーでの輸送のしかた)

1 **45ページの「分解のしかた」の手順**にしたがい，ラクーターを５つのユニットに分解してください。

2 前部と後部を持ち上げ、車の中に収納します。ハーネス等がラクーターの下敷きになったり，凸部にふれずに、周囲に沿うように収納してください。

3 ２つのバッテリを載せ，バッテリ端子に金属部やケーブルが接触して，ショートしないように確保してください。

4 シートを車に載せてください。
その際，シート装飾を傷つけないよう保護してください。

5 車に収納する際，各ユニットが安定し，また，走行中互いにぶつかって損傷しないようにしてください。

6 車からの取出しは逆の順序で行ってください。

7 車での輸送後は，**43ページの「組立」の手順**にしたがい，組み立ててください。

注　意

＊運転する前に、**42ページの「組立てチェックと試運転」**を必ず行なってから，運転を始めてください。
＊分解・組立のとき，また車へ各ユニットを収納・取り出しする際，機械間に手をはさまれたり，指を傷をつけたりしないように手袋をはめて行なってください。
＊本体後部の運搬は，タイヤ上のトッテを持ち，２人で行なってください。
この際，樹脂カバーなどを持上げないでください。

（参考）　重量　①　前　部　　16.0kg
②　後　部　　35.0kg
③　バッテリ２個　14.0kg＋14.0kg

定期点検

ラクーターを安全に使用していただくために，下記の定期点検を行なってください。

・ラクーターを使用しないときも定期点検は必ず実施してください。
・ラクーターを長期間(特に冬場など)使用しなかった後に，使用を再開される場合は，使用する前に定期点検を実施してください。

点検項目		点検内容
制動装置	電磁ブレーキ	平坦路で１m以内で止まりますか？ 下り坂(10度以下)では，1.5m以内で止まりますか？
	緊急ブレーキスイッチ	緊急ブレーキスイッチは作動しますか？
	補助ブレーキ	ブレーキは作動しますか？ 異音の発生はないですか？
操舵装置	ハンドル	スムーズに動きますか？ ハンドルの根元のネジのゆるみや、ガタがないですか？ 前輪タイヤ取付け部のゆるみや、ガタがないですか？
電装装置	バッテリメータ	バッテリメータは，全部のランプがついていますか？
	電源スイッチ	ヘッドランプは点灯しますか？
	前進／後進切換えスイッチ	前進しますか？後進しますか？
	速度切換えスイッチ	速度は変わりますか？
	走行／停止レバー	押し加減によって速度調整ができますか？
	ホーンスイッチ	ホーンは鳴りますか？
充電装置	充電器	充電器は作動しますか？ (充電確認ランプは点滅しますか？点灯になりますか？) 充電コードの損傷はないですか？
	バッテリ	ターミナルのゆるみや，損傷はないですか？ 配線コネクタのゆるみや，損傷はないですか？ バッテリの損傷はないですか？
駆動装置	モータ	発進，停止はスムーズですか？ 異音はないですか？ 配線コネクタのゆるみや、損傷はないですか？
	クラッチ	クラッチレバーを引張ると手押しできますか？ クラッチレバーを押下げるとクラッチが入りますか？
	ミッション	異音はないですか？ グリスの漏れはありませんか？
走行装置	タイヤ	空気圧は減っていませんか？ 摩耗や損傷はないですか？ 釘・石など，異物が刺さってないですか？
	タイヤ取付け部	ゆるみや，ガタはないですか？
その他		車体の損傷はないですか？ 車体やシートにゆるみや，ガタはないですか？ ボルト・ナットのゆるみはないですか？ パンクの修理，バッテリの交換などで手を加えた場合は，その部分の固定状態を点検してください。

定期点検記録簿

定期点検時には，下表に記入をお願いします。

点検項目	1回目 (購入後3ヵ月)	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
制動装置						
操舵装置						
電装装置						
充電装置						
駆動装置						
走行装置						
その他						
点検実施店名						
実施年月日						
備　考						

故障のときの処置

次のような現象がみられたら，以下の表に従い点検してください。それでも異常があれば，使用を中止し，販売店にご連絡ください。

現　　象	点　　検	処 置 方 法
バッテリメータがつかない	・電源スイッチがOFF(切り)の位置になっていませんか？	ON(入り)の位置にしてください。
	・ヒューズが切れていませんか？	ヒューズを交換してください。
発進しない	・バッテリメータが赤だけになっていませんか？	バッテリを充電してください。
	・クラッチレバーが「手押し」位置になっていませんか？	「走行」位置にしてください。
	・緊急ブレーキスイッチを強く握っていませんか？	走行／停止レバーを一旦はなして，再度押えてください。
	・前後接続コネクタが外れていませんか？(ED-37P)	コネクタを確実に差し込んでください。
ブザーが鳴って発進しない	・走行／停止レバーを握った状態で電源スイッチをON(入り)にしていませんか？	走行／停止レバーを一旦はなして，再度押えてください。
	・シートスイッチのコネクタが外れていませんか？	コネクタをきつく差し込んでください。
走行中、停止した	・緊急ブレーキスイッチを強く握っていませんか？	走行／停止レバーを一旦はなして，再度押えてください。
	・バッテリメータが赤だけになっていませんか？	電源スイッチをOFF(切り)にし，しばらく休んだ後「遅い」速度で移動し，直ちに充電してください。
	・赤い前進／後進切換えスイッチを誤まって，切換えていませんか？	走行／停止レバーを一旦放して，スイッチを元の位置に戻してください。
ブザーが鳴った後，停止した	・シートから腰を上げたり，腰をずらさなかったですか？	走行／停止レバーを一旦放して，きちんと座りなおしてください。
	・溝に落ちたりして，ラクーターが動かない状態	電源スイッチをOFF(切り)にし，しばらく休んでください。
ブザーが鳴った後，坂が上れなくなった	・急な上り坂を長時間走行していませんか？	電源スイッチをOFF(切り)にし，2~5分間休んだ後，引返すか，又は十分冷やしてから走行してください。
走行中ブザーが鳴る	・急な上り坂を走行していませんか？	ゆるやかな坂，又は平坦路に戻ってください。

故障のときの処置

現　　象	点　　検	処 置 方 法
降りたとき，ブザーが鳴る	・電源スイッチのキーを抜き忘れていませんか？	電源スイッチをOFF(切り)にして，キーを抜いてください。
充電確認ランプが点滅しない	・ＡＣ100Ｖの電源がきてますか？	元のスイッチが入っているか確認してください。（別の電気機器（ドライヤーなど）をつないでみてください。）別のコンセントに差し込んでみてください。
	・充電コードのプラグが抜けかかっていませんか？	プラグを確実に差し込んでください。
充電確認ランプが点滅から点灯にならない	――――――――	販売店にご連絡ください。
走行距離が短くなった(バッテリメータの色が早く変わる)	・タイヤの空気圧が減っていませんか？	適正空気圧になるように空気を入れてください。
	・バッテリが寿命になっていませんか？	販売店にご連絡ください。
速度が遅くなった	・タイヤの空気圧が減っていませんか？	適正空気圧になるように空気を入れてください。
発進及び停止時に，振動・異音がある	――――――――	販売店にご連絡ください。
前進中に物に衝突してから走行しない	【オプション装備部品】バンパーセンサ ・後進はできますか？	後進ができればバンパーセンサが，原因です。衝突で接触した付近を軽く叩いてみてください。それでも前進できなければ，応急処置として，前輪カバー内にあるバンパーセンサのコネクタを外して移動し，販売店にて部品の交換修理をしてください。

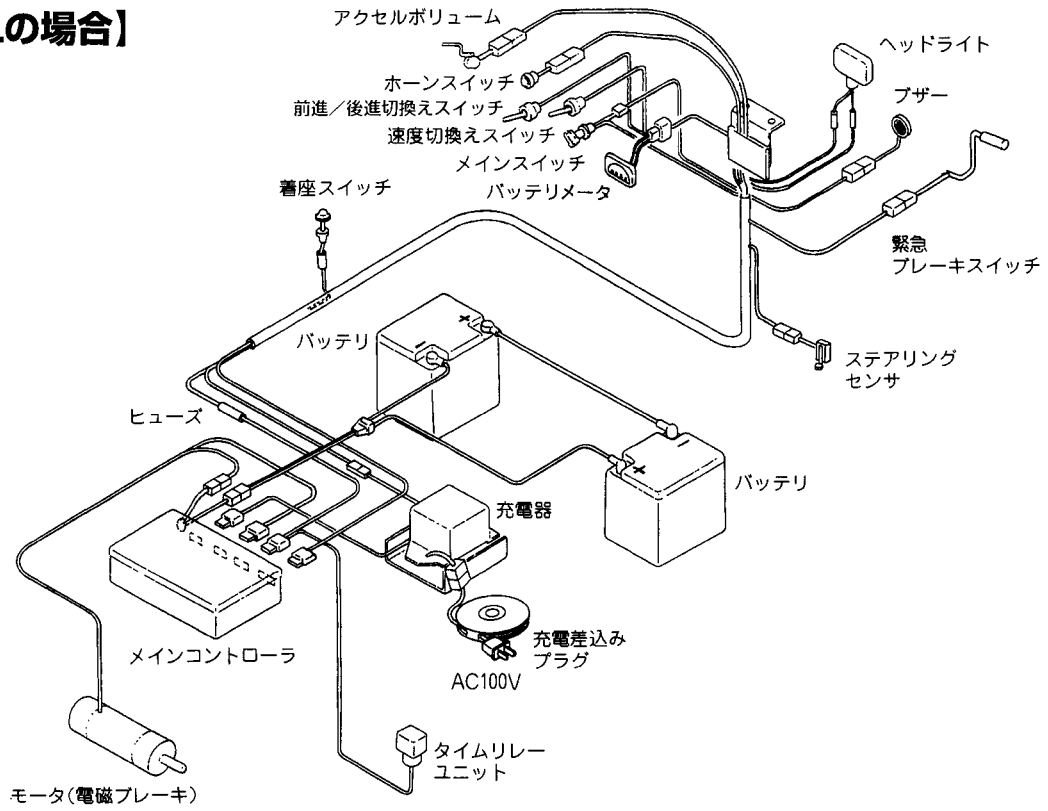
・水につかったとき，走行，充電等の使用を中止し，販売店にご連絡ください。

注　意

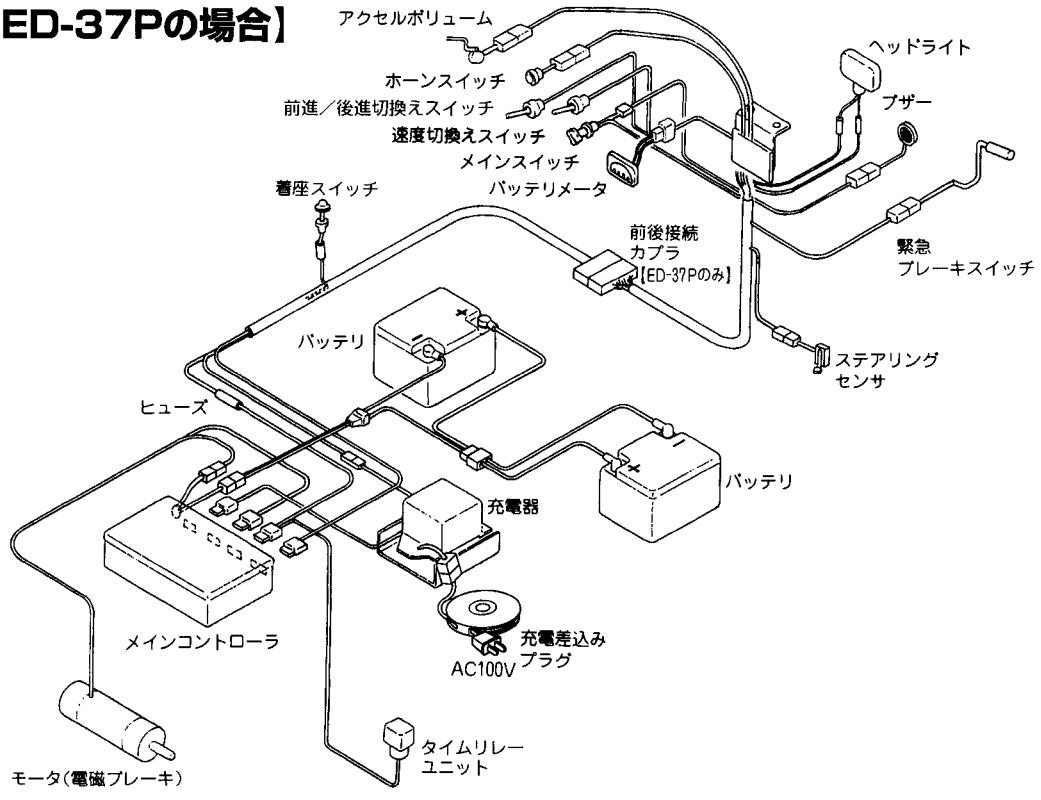
＊傾斜地で動かなくなったときは，クラッチレバーを「手押し」位置にして動かさないで，介助者などの応援をたのみ，平坦で安全な場所に移動してから点検してください。
＊クラッチレバーが「手押し」位置では、ブレーキがききません。

電気配線図

【ED-37Lの場合】



【ED-37・ED-37Pの場合】



主要諸元／寸法図

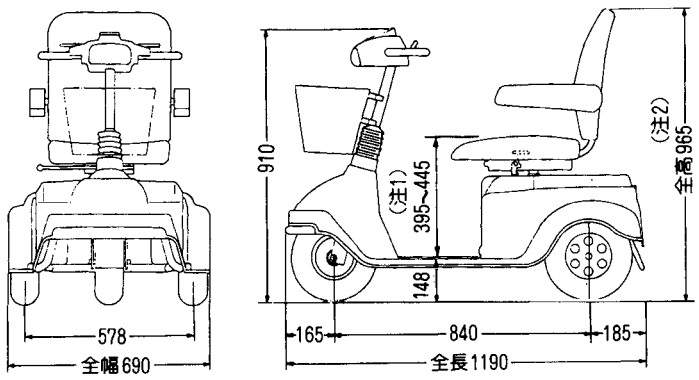
主要諸元

形式		ED-37	ED-37P	ED-37L
全長×全幅×全高		1190×690×965mm		1190×690×1035mm
質量	本体(除バッテリ)	58kg	60kg	59kg
	総質量(含バッテリ)	86kg	88kg	98kg
車輪		前輪：3.50-5　後輪(左右)：3.50-5		
バッテリ（平坦路走行状態）		12V×35Ah×2個(シールド)		12V×57Ah×2個(シールド)
モーター（30分定格出力）		24V／370W		
駆動方式		後2輪直接駆動(デフ付)		
制動方式		発電ブレーキ＋電磁ブレーキ＋補助ブレーキ		
速度制御方式		走行／停止レバーによる無段階制御		
充電器		交流100V用、直流24V、内装型電子タイマ付自動充電器		
速度	前進	速い：6.0　普通：4.5　遅い：1.5 (km/h)		
	後進	速い：2.0　普通：1.5　遅い：1.0 (km/h)		
実用登坂角度		10度		
段差乗越え高さ		前進80mm　後進40mm		
溝乗越え幅		150mm		
最小回転半径		1250mm		
連続走行時間		5時間		8時間
		(バッテリ新品，満充電，常温，最高速度，標準体重(75kg)，平坦路，70%放電までの時間)		
最大乗車重量		100kg(搭乗者・手荷物を含む)		
シート		はねあげ式ひじかけ付回転式(左右各90°)		はねあげ式ひじかけ付固定式
諸装置		オートクルージングシステム・ステアリング減速装置 ブザー式警報装置・バックブザー		
		緊急ブレーキスイッチ		
		OPCシステム(着座スイッチ)		
		—	分割可能(ハンドル部，後部，座席部，バッテリ，フロントバスケット)	—

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図

注1：ED-37Lは 460mm
注2：ED-37Lは1035mm



(単位：mm)

アフターサービスについて

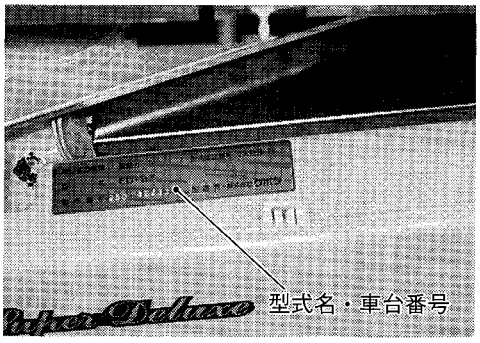
1.保証書

この商品には保証書を添付しています。必ず「販売店名・お渡し日(説明日)」の記入をお確かめになり，保証内容をよくお読みの上，大切に保存してください。

2.アフターサービス

・ご使用中の故障や修理などご不明の場合は，お買上げの販売店にお問合わせください。その際、機械の種類と車体番号を併せてご連絡ください。

・クボタ純正部品をご使用ください。



種　　類	電動カート
形　　式	
車体番号	
製造元	株式会社クボタ

注　意

＊ラクーターの改造は事故・故障の原因となりますので，しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

株式会社クボタ

本　　社	大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号	〒556	電(06)	648-2111
東京本社	東京都中央区日本橋室町３丁目１番３号	〒103	電(03)	3245-3111
北海道支社	札幌市中央区北３条西３丁目１番地44(札幌富士ビル)	〒060	電(011)	214-3111
東北支社	仙台市青葉区本町２丁目15番11号	〒980	電(022)	267-9000
中部支社	名古屋市中村区名駅３丁目22番８号(大東海ビル)	〒450	電(052)	564-5111
九州支社	福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号(住友生命博多ビル)	〒812	電(092)	473-2401
札幌支店	札幌市西区西町北16丁目１番１号	〒063	電(011)	662-2121
仙台支店	名取市田高字原182番地の１	〒981-12	電(022)	384-5151
東京支店	浦和市西堀５丁目２番36号	〒338	電(048)	862-1121
大阪支店	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8506
岡山支店	岡山市宍甘275番地	〒703	電(0862)	79-4511
福岡支店	福岡市東区和白丘２丁目２番76号	〒811-02	電(092)	606-3161
堺製造所	堺市石津北町64番地	〒590	電(0722)	41-1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22番地２	〒321	電(0286)	61-1111
筑波工場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(0297)	52-5112
枚方製造所	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720)	40-1121
西日本総合部品センター	堺市築港新町３丁８番	〒592	電(0722)	45-8601
東日本総合部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(0297)	52-0510
北海道部品センター	北海道北広島市大曲工業団地３丁目１番地	〒061-12	電(011)	376-2335
九州部品センター	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092)	606-3161
株式会社クボタアグリ東北				
秋田事業所	秋田市寺内字大小路207-54	〒011	電(0188)	45-1601
仙台事業所	宮城県名取市田高字原182-１	〒981-12	電(022)	384-5151
株式会社クボタアグリ東京				
東京事業所	浦和市西堀５-２-36	〒338	電(048)	862-1121
新潟事業所	新潟市上所上１-14-15	〒950	電(025)	285-1261
株式会社クボタアグリ大阪				
金沢事業所	石川県松任市下柏野町956-１	〒924	電(0762)	75-1121
名古屋事業所	愛知県一宮市観音町１-１	〒491	電(0586)	24-5111
大阪事業所	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8550
株式会社クボタアグリ中四国				
米子事業所	米子市米原７丁目１番１号	〒683	電(0859)	33-5011
岡山事業所	岡山市宍甘275	〒703	電(0862)	79-4511
高松事業所	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３	〒769-01	電(0878)	74-5091
株式会社クボタアグリ九州				
福岡事業所	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092)	606-3161
熊本事業所	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１	〒861-41	電(096)	357-6181

AA．☆．9－10．K／品番：Y0001-6111-6